

令和5年度
教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検並びに評価
報 告 書



阿賀野市合併 20 周年記念式典（市内 4 中学校吹奏楽部による合同演奏）

令和 6 年 10 月
阿賀野市教育委員会

はじめに

阿賀野市教育委員会においては、総合教育会議の開催や4年間（令和3年度から令和6年度まで）にわたる教育大綱の策定、さらに第3次教育振興基本計画を策定しています。

少子高齢化ならびに人口減少社会の到来に伴う就学・就業構造の変化や、技術革新・グローバル化の一層の進展、家庭の経済状況による教育格差の拡大、感染症予防対策など、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、教育に求められる役割はますます増大しています。

阿賀野市においては、教育の基本理念を「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」とし、教育大綱・教育振興基本計画において、本市が持続可能なまちとして発展していくための教育の在り方を示しています。「まちづくりは人づくり」という考えに立ち、主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力(自立)・多様な人々と対話し、問題を解決する力(協働)・新しい価値を生み出す力(創造)を育てたい資質・能力として教育を推進していきます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が通常の医療体制での対応となりました。感染症予防に留意しながらも、通常のエデュケーション活動を実施できることが増え、様々な取組が活性化しました。

I C T教育においては、児童生徒1人1台のタブレット端末の活用が定着し、時代に即した情報教育環境の下、授業が行われました。これに伴い児童生徒にI C T環境を活用する能力が身に付いていることが、アンケート結果からも伺えました。

施設整備においては、京ヶ瀬小学校の長寿命化改良等工事の設計を行い、令和6年度の改修工事の準備を進めました。

少子化による部活動の諸問題や教員の長時間労働解消の観点から、中学校における休日の部活動の地域移行を開始しました。地域クラブは、陸上長距離、剣道、軟式野球の3競技で開設され、地域指導者が指導しています。誰でも、自分のやりたいスポーツや文化・芸術に親しむことができるよう活動を推進しています。

また、校務支援システムを導入し、学校における業務の効率化・教育の質的改善に資するようにしました。これは、令和6年度から本格稼働しています。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、事務の管理及び執行状況を点検・評価し公表するものです。一層効果的な教育施策の展開を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携や生涯学習の充実を図ってまいります。学校・家庭・地域の連携と協働に向けて、市議会や市民の皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いし、刊行のことばといたします。

令和6年10月 阿賀野市教育委員会

目 次

阿賀野市教育振興基本計画【概要版】	1
阿賀野市教育委員会組織図	2
第 1 章 教育委員会の会議及び委員の主な活動	3
第 1 節 会議等による方針決定とその対応	3
第 1 項 教育委員会の定例会・協議会での議論	3
第 2 項 教育委員会連合会・連合協議会への参画	4
第 3 項 市長部局及び議会への対応	4
第 2 節 その他の主な活動	5
第 1 項 学校訪問（教育施設視察）の実施	5
第 2 項 入学式・卒業式・各種行事	5
第 3 項 教職員人事への対応	6
第 4 項 計画の策定	6
第 5 項 小学校再編整備の検討	6
第 6 項 学校施設の耐震化や大規模改修事業から長寿命化事業へ	7
第 7 項 新型コロナウイルス感染症他への対応	7
第 3 節 今後に向けて ～教育委員会活動の評価～	8
教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する規則 抜粋他	10
第 2 章 教育委員会の事務管理・執行状況並びに評価	11
令和 5 年度の評価 [阿賀野市教育振興基本計画と市総合計画成果指標による評価]	12
第 1 節 I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（学校教育課）	15
第 1 項 教職員配置・各種学校支援事業等に関する事	15
第 2 項 研修に関する事	21
第 3 項 学校給食に関する事	22
学校教育施策の課題と対応 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（教育センター）	23
第 4 項 学力の向上と学習・生活習慣の改善	24
第 5 項 児童生徒の体格・体力の状況	27
第 6 項 生徒指導について ～いじめ・不登校の解消推進～	32
第 7 項 特別支援教育の充実	34
第 8 項 快適な学習・生活環境整備及び長寿命化の推進	35
第 2 節 II 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）	36
第 1 項 社会教育・公民館に関する事	36
第 2 項 図書館事業に関する事	40
第 3 項 スポーツに関する事	45
第 4 項 文化財の保護に関する事	48
生涯教育施策の課題と対応 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）	53
第 5 項 生涯学習振興行政の推進について	54
第 6 項 生涯学習課施設の整備・再編	55
第 7 項 歴史・文化の資源化	56
第 3 節 III 地域協働による活動の推進（学校教育課・生涯学習課）	57
第 1 項 地域協働・連携に関する事	57
第 2 項 学校の地域連携に関する事	59
第 3 項 青少年育成センターに関する事	60

第4節	IV安全・安心な教育環境づくりの推進（学校教育課）	61
第1項	安心して学べる学校づくりに関すること	61
第2項	快適な教育環境・施設設備等の整備に関すること	62
第3項	学校等の環境衛生に関すること	62
第4項	児童生徒の安全確保及び就学支援等に関すること	63
第3章	総 括（まとめ）	67
	懇談要旨	67
	教育委員による所感	68

教育の基本理念

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育



《育てたい資質・能力》

自立・・・主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力
協働・・・多様な人々と対話し、問題を解決する力
創造・・・新しい価値を生み出す力



4つの基本方針

I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進

- 1 確かな学力の育成
 - ・授業改善の推進（「主体的・対話的で深い学び」の実現）
 - ・学習習慣の確立
 - ・豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実
- 2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成
 - ・いじめや不登校を生まない学校づくり
 - ・思いやりの心と命を大切にすると徳教育
 - ・健やかな体の育成
- 3 一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の充実
 - ・関係機関との連携による一貫した支援
 - ・全校体制による特別支援教育の推進
 - ・教職員の資質・専門性の向上
- 4 グローバル化・ICT化に対応した教育の推進
 - ・英語力向上の取組
 - ・パソコンやタブレットの積極的な活用

II 人生を豊かにする生涯学習の推進

- 1 生涯にわたって学ぶ場とその成果を社会に生かす機会の充実
 - ・多様な学びの場の充実と学習支援
 - ・学習機会や実践活動の充実
- 2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手の育成
 - ・文化財の保護・活用
 - ・地域文化を継承する人材の育成
- 3 健康でうるおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充
 - ・芸術・文化活動の充実
 - ・スポーツに触れ合う機会の提供

III 地域協働による活動の推進

- 1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成
 - ・学校・家庭・地域の協働体制づくり
 - ・地域学習の推進
- 2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進
 - ・社会に開かれた教育課程の推進
 - ・学校・地域との連携によるキャリア教育の推進
- 3 多様な体験活動や他者との関わりを通じた、心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成
 - ・家庭の教育力の向上
 - ・地域の教育力の向上
 - ・健全な環境の整備

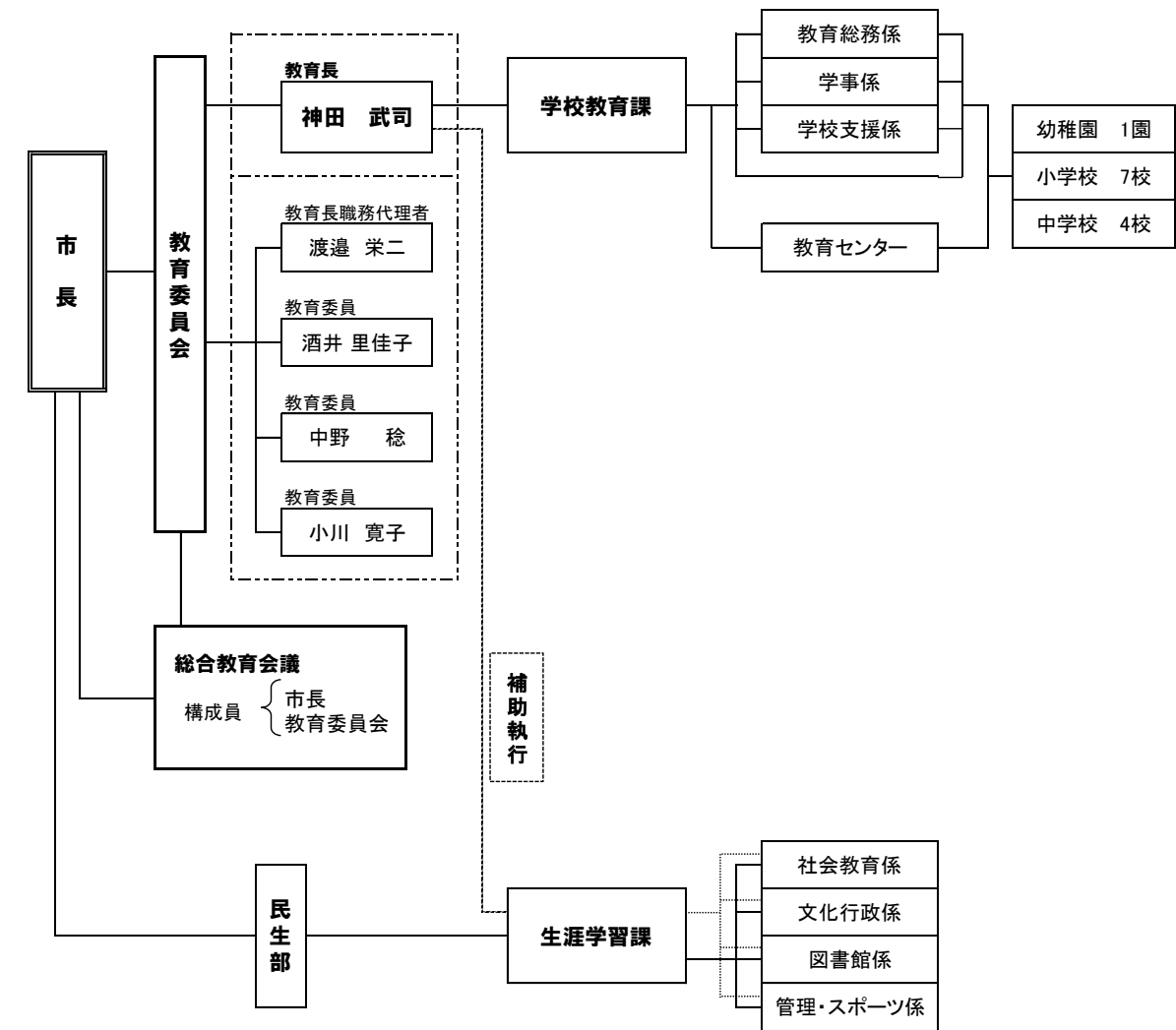
IV 安全・安心な教育環境づくりの推進

- 1 児童生徒が安心して学べる学校づくりの推進
 - ・「いじめ防止対策推進法」に基づいた取組
 - ・相談支援体制の充実
- 2 自分の命を守る防災教育等の充実
 - ・「防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進
 - ・「学校安全計画」に基づく安全教育の推進
- 3 安全・安心で快適な教育環境の整備・充実
 - ・学校施設の整備と機能向上
 - ・通学環境の安全確保
 - ・経済負担の軽減

阿賀野市教育委員会組織

【阿賀野市教育委員会組織図】

令和6年3月31日現在



各施設説明細

学校教育課施設		生涯学習課施設		
◆ 幼稚園 1 認定こども園京ヶ瀬幼稚園	◆ 中学校 1 安田中学校 2 京ヶ瀬中学校 3 水原中学校 4 笹神中学校	◆ 公民館 1 ふれあい会館 2 安田公民館 3 京ヶ瀬公民館 4 水原公民館	◆ 体育館 1 安田体育館 2 京ヶ瀬体育館 3 水原総合体育館 4 笹神体育館 5 大和体育館(旧大和小学校) 6 前山体育館(旧前山小学校) 7 山手体育館(旧山手小学校) 8 分田体育館(旧分田小学校)	◆ 体験施設 1 五頭連峰少年自然の家 2 城ノ内陶芸スタジオ
◆ 小学校 1 安田小学校 2 京ヶ瀬小学校 3 堀越小学校 4 水原小学校 5 安野小学校 6 笹岡小学校 7 神山小学校	◆ 給食センター 1 安田学校給食センター	◆ 博物館・郷土資料館 1 吉田東伍記念博物館 2 歴史民俗資料館	◆ その他社会体育施設 1 安田B&G海洋センター 2 城ノ内野球場 3 安田橋運動公園[第1野球場] 4 安田橋運動公園[第2野球場] 5 安田橋多目的運動広場 6 水原野球場 7 城ノ内テニスコート 8 水原テニスコート	
	◆ 適応指導教室 1 白鳥ルーム	◆ 図書館 1 市立図書館 2 安田図書館 3 水原中学校市民図書室 4 笹神図書館	◆ 屋内運動場 1 立川記念屋内球技練習場 2 京ヶ瀬屋内運動場 3 水原屋内運動場 4 笹神屋内運動場	9 大和グラウンド(旧大和小学校) 10 水原ゲートボール場 11 前山グラウンド(旧前山小学校) 12 分田グラウンド(旧分田小学校)

第 1 章 教育委員会の会議及び委員の主な活動

「教育委員会」という表記は、教育長と 4 人の教育委員で構成される合議制の教育委員会を指す場合と、事務局である学校教育課と生涯学習課を含めた教育委員会組織全体を指す場合があります。

この章では、前者の合議制の教育委員会活動を中心に、令和 5 年度の対応と評価について報告します。

合議制の教育委員会は、月 1 回の定例会のほか、必要に応じて審議や意見交換などを行う臨時会・協議会を開催し、教育行政の基本方針や重要施策、具体的な事業・方針などを決定しています。この決定を受けて、教育委員会事務局では、職員がさまざまな事務を執行するとともに、管理指導主事や教育センターの教育指導主事などが学校現場への指導・支援を行い、各種事業を具体的に推進しています。

第 1 節 会議等による方針決定とその対応

第 1 項 教育委員会の定例会・協議会での議論

阿賀野市教育長に対する事務の委任等に関する規則第 1 条に掲げる項目や関連事業については、時間をかけて審議を行い、承認などの決定を行いました。

具体的には、総合計画を踏まえ、教育委員会に属する附属機関の委員委嘱・任命や、教育予算その他議会の議決を経るべき議案の意見の申し出、教育委員会規則等の制定・改廃などについて慎重審議を行い、教育委員会としての具体的な方策や今後の方向性を示しました。この他、複雑化・多様化する教育課題に対応するため、児童生徒の安全の確保や学力の向上、就学援助費受給申請の認定、共催・後援の承諾、児童生徒・教職員の事故報告に対する対応策、学校現場の支援方策等も審議し、阿賀野市の教育行政の進展に努めました。

会議名	開催回数	議案件数	報告件数	協議件数	委員出席率
定例会	12 回	30 件	32 件		95.8%
協議会	7 回			11 件	95.8%

※「議案件数」＝議件簿に掲載し、議案として審議した件数

※「報告件数」＝教育施策に関する報告や情報を提供した件数

※「協議件数」＝重要課題等に対する今後の対応や進め方を協議した件数



教育委員会定例会

第2項 教育委員会連合会・連合協議会への参画

教育委員会では、県内各市町村の教育委員会と相互の連絡を密にし、協力して教育問題の研究や教育行政の推進を図ることを目的に、例年、新潟県市町村教育委員会連合会や三市北蒲原郡教育委員会連合協議会の総会・研修会へ積極的に参加してきました。

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響も落ち着き5類となったため、各総会・研修会とも4年ぶりの集合開催となりました。なお、三市北蒲原郡教育委員会連合協議会は、県内類似組織同様その役目を終え、令和6年3月をもって解散となりました。

期 日	内 容
5月22日（月）	三市北蒲原郡教育委員会連合協議会定期総会（阿賀野市）
7月21日（金）	新潟県市町村教育委員会連合会総会・研修会（五泉市）
11月16日（木）	三市北蒲原郡教育委員会連合協議会研修会（胎内市）

第3項 市長部局及び議会への対応

財政権限を有しない教育委員会にとって、市の政策に教育施策をどのように反映していくのか、議会の理解をどのように得ていくのかは、共に重要な事項です。

市長部局に対しては、学校現場への支援継続やICT環境の整備、学校施設の長寿命化、学校給食に関する運営再編や保護者負担への支援、部活動の地域移行、就学援助費の継続支給など、緊密な連携を保ちながら施策を推進してきました。

市長が招集する「総合教育会議」においては、教職員の働き方改革と教職員不足の解消について意見を交換しました。

議会に対しては、総務文教常任委員会・社会厚生常任委員会を中心に、教育施策の方針や課題、その対応策を説明するとともに、必要に応じて現地視察を実施し、実情を把握していただきました。

今後とも、市長部局や議会に対し、困難な教育課題や教育施策の中長期的な展望、案件の持つ特殊事情などを遅滞なく詳細に説明を行った上で理解を求めていくこと、学校現場や生涯学習活動の様子・事情を率直に伝えていくことが求められています。

第2節 その他の主な活動

第1項 学校訪問（教育施設視察）の実施

学校訪問は、教育現場において園児児童生徒や教職員の様子を直接見ることができる有意義な時間であることから、令和5年度も管内全ての学校等で実施しました。

学校訪問では、授業担当者の新たな試み・指導方法改善による学力向上策や、特別な支援が必要な園児児童生徒に対するきめ細やかな対応策などを視察しました。

この訪問では、教育委員がただ単に授業を視察するだけでなく、給食や学校施設の現状を把握するとともに、校長や教頭等と懇談し、教育現場の生の声を聴くことができる貴重な機会と捉えています。

期 日	内 容
6月27日（火）	学校訪問（安田小学校、安田中学校）
7月4日（火）	学校訪問（堀越小学校、水原小学校）
7月13日（木）	学校訪問（神山小学校、笹岡小学校、笹神中学校）
10月17日（火）	学校訪問（安野小学校、水原中学校）
10月24日（火）	学校訪問（京ヶ瀬幼稚園、京ヶ瀬小学校、京ヶ瀬中学校）

第2項 入学式・卒業式・各種行事

幼稚園の入園式・修了式や小中学校の入学式・卒業式のほか、幼稚園・小学校の運動会、中学校の体育祭、学校音楽祭などの各種学校行事や、生涯学習行事に広く出席するよう努めました。

期 日	内 容
4月7日（金）・10日（月）	幼稚園入園式、小中学校入学式
5月4日（木）	はたちを祝う会
5月20日（土）・27日（土）	小学校運動会
7月28日（金）	第1回総合教育会議
9月9日（土）・10月2日（月）	中学校体育祭
9月23日（土）・24日（日）	子ども科学展
9月30日（土）	幼稚園運動会
10月18日（水）	小学校音楽祭
11月3日（金）	市功労者表彰式
11月27日（月）	第2回総合教育会議
1月1日（月）	市民元旦マラソン大会
3月4日（月）・5日（火）	中学校卒業式
3月21日（木）	幼稚園修了式
3月22日（金）	小学校卒業式

第3項 教職員人事への対応

小中学校や教育機関の管理職人事を承認し、県費負担の転入・退職転出教職員や市費負担の教育委員会職員に対して辞令交付を行いました。

期 日	内 容
4 月 3 日 (月)	学校教職員・教育委員会職員辞令交付式
2 月 21 日 (水)	小中学校管理職の人事異動の承認
3 月 29 日 (金)	学校教職員・教育委員会職員退職者並びに転出者辞令交付式

第4項 計画の策定

令和5年度においては、各計画とも計画年度内であり、策定作業は行いませんでした。

策定期間	内 容	計画年度
令和2年3月	阿賀野市学校施設長寿命化計画	令和2年度(2020)～令和10年度(2028)
令和3年3月	阿賀野市教育大綱	令和3年度(2021)～令和6年度(2024)
令和3年3月	阿賀野市教育振興基本計画(第3期)	令和3年度(2021)～令和6年度(2024)
令和4年7月	阿賀野市学校給食運営再編計画	令和4年度(2022)～令和8年度(2026)

第5項 小学校再編整備の検討

教育委員会では、平成17年度に策定した第1次再編整備計画である小学校14校整備計画に基づき、平成20年4月に駒林小学校を京ヶ瀬小学校へ、平成21年4月に大和小学校と寺社小学校を保田小学校へ統合しました。

その成果やさらに進展する児童数の減少傾向を踏まえ、平成23年度に第2次再編整備計画である小学校11校整備計画を策定しました。市長部局と意見交換を行いながら計画を推進し、平成26年4月に前山小学校を京ヶ瀬小学校へ統合しました。

その後に安田地区の地域住民の皆さんの意見を踏まえ、平成29年4月に山手小学校と赤坂小学校を保田小学校へ統合し、校名を安田小学校に改称しました。

また、令和3年度に保護者や地域住民と話し合い、結果を受け令和5年4月に分田小学校を堀越小学校へ統合し、更に安田幼稚園についても、令和5年3月に閉園し一気に再編が進みました。

教育委員会としては、引き続き児童の減少傾向、保護者や地域の意見を聴きながら今後の学校再編整備の在り方について、慎重かつ多面的に検討していくこととしています。

第6項 学校施設の耐震化や大規模改修事業から長寿命化事業へ

学校施設においては、平成27年度に小中学校の耐震化を完了した後、大規模改修事業として、老朽施設の改修や環境改善をこれまで推進してきました。

しかし、施設整備の基本方針として、阿賀野市公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設を含む非木造建築物の使用期間が80年を目標とすることになったため、これまでの事後保全から不具合を未然に防止する予防保全の考えを取り入れ、コストを抑えながら建て替えと同等の教育環境を確保する長寿命化事業を令和元年度から進めることになりました。令和5年度は、令和4年度に引き続き京ヶ瀬小学校の長寿命化等設計業務を行いました。

第7項 新型コロナウイルス感染症他の対応

阿賀野市立小中学校の臨時休業、学級・学年閉鎖 [学校別集計]

学校	臨時休業	学年・学級閉鎖	措置総数
安田小学校	－	14	14
京ヶ瀬小学校	－	4	4
堀越小学校	－	3	3
水原小学校	－	14	14
安野小学校	－	4	4
笹岡小学校	－	9	9
神山小学校	－	1	1
安田中学校	－	4	4
京ヶ瀬中学校	－	1	1
水原中学校	1 (R5.9.13～9.17)	4	5
笹神中学校	－	0	0
総 数	1	58	59
〔参考〕R4 総数	3	114	117

第3節 今後に向けて ～教育委員会活動の評価～

令和5年度の一年を振り返ると、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、それまでに培った感染症対策を継続しつつ学校の各行事に関する制約を緩和することができ、新しい実施方法が確立されていたことが挙げられます。また、臨時休業や学年・学級閉鎖の措置数も半減し、これに伴い教育委員会活動もコロナ前とほぼ同様に実施することができるようになりました。(資料参照 1章2節7項P7)

どのような状況においても学びを止めないよう GIGA スクール構想で整備した、児童生徒1人1台のタブレット端末等の I C T機器を活用した教育も定着し、各学校において教室での授業や校外活動などで積極的な活用が推進され、時代に即した情報教育環境の下、教育が行われました。(資料参照 2章1節1項P20)

施設整備においては、令和6年度に予定している京ヶ瀬小学校長寿命化等改修工事の設計業務を令和4年度に引き続き実施し、発注準備を進めました。

(資料参照 2章4節1項P62, P7)

個別の事業では、引き続き生涯学習課が担当する「放課後スクール」「温故塾」など児童生徒の学習支援事業を実施しました。(資料参照 2章3節1項P58)

英語教育の施策については、新学習指導要領で小学校に外国語活動・外国語科(英語)の導入や急速に進展する社会のグローバル化の対応策として、塾のコンビニ事業「英語塾」や英語教育充実のため各学校においてイングリッシュデイとして複数の A L T と触れ合う機会やイングリッシュキャンプを実施するなど一層の充実に努めました。

(資料参照 2章1節1項P17)

広島平和記念式典中学生派遣事業については、生徒12人の派遣を実施し、市内中学校生徒が作製した折り鶴を平和記念公園へ奉納・慰霊碑へ献花を行うなど、原爆被害の悲惨さや核兵器廃絶と平和の尊さを考える機会となりました。(資料参照 P52)

教育委員会活動の課題として、学校教育課では、学力の向上や生徒指導、特別支援教育の充実、子どもたちの安全・安心、通学バスの運行、教育施設の老朽化への対応はもとより、G I G A スクール構想による I C T 教育の推進、地域との連携による子どもたち・教職員・保護者・地域住民の皆さんがそれぞれ元気になれる双方向の学校支援体制の構築、部活動の地域移行、教職員の働き方改革なども大きな課題となっています。

生涯学習課では、組織改編と連動する形で、平成25年度から市長部局に位置付けられてきましたが、社会教育や青少年育成、文化財、図書館などの分野に関しては、教育委員会所管事務として担当する職員を教育委員会に兼務発令し、学校教育課との連携を深めつつ、より充実した教育施策の実施に努めてきました。各地区の体育館や公民館、図書館、五頭連峰少年自然の家、博物館・資料館等の教育関連施設では、維持管理や改修、

運営の活性化など、数多くの問題や課題が存在し、その対応が求められています。

教育委員個々の考えを含め、巻末の懇談録や教育委員の所感もご覧いただき、教育委員会 の今後について参考としていただければ幸いです。

教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する規則 抜粋

(趣旨) (平成 21 年 教育委員会規則第 5 号)

第 1 条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 26 条の規定に基づき、阿賀野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第 2 条 点検及び評価の対象は、第 21 条各号に掲げる事務及び教育施策上の課題等とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第 3 条 点検及び評価に資するため、事務局（第 17 条に定める事務局をいう。以下同じ。）は、前条第 1 項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(点検及び評価に係る会議等)

第 4 条 点検及び評価を行うため、教育委員会は、阿賀野市教育委員会会議規則（平成 16 年阿賀野市教育委員会規則第 3 号）第 9 条に規定する協議会を開催する。

2 法第 26 条第 2 項に定める学識経験者の知見を活用するため、教育委員会は前項に規定する協議会に、学識経験者の出席を求める。

(議会報告等)

第 5 条 教育委員会は、協議会の検討を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを阿賀野市議会に提出するとともに、公表する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

第 21 条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第 30 条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(平成 20 年 4 月 1 日適用) (令和 2 年 3 月 31 日一部改正法律第 11 号)

第 2 章 教育委員会の事務管理及び執行状況並びに評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条各号に掲げられている事項のうち、阿賀野市教育振興基本計画に基づき、報告対象年度に実施した主な事業を対象として整理・点検を行いました。

指標は、阿賀野市総合計画に掲げた所管課の成果指標を用いて、目標達成度を評価しています。（阿賀野市総合計画の評価結果は「阿賀野市まちづくり報告書」にて公表）

＜阿賀野市総合計画＞ まちづくりの目標「元気で 明るく 活力のある魅力的なまち」

阿賀野市総合計画（平成 28 年 3 月策定）

基本構想：平成 28 年度～令和 6 年度

前期：基本計画 2016-2020（平成 28 年 3 月策定）

実施計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度(2016-2020)

後期：基本計画 2021-2024（令和 3 年 3 月策定）

実施計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度(2021-2024)

＜阿賀野市教育振興基本計画 等＞

阿賀野市教育振興基本計画（第 2 期）

実施計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度

基本理念「自立・信頼・共生が拓く、私たちの未来・ふるさとの未来」

阿賀野市教育大綱、

阿賀野市教育振興基本計画（第 3 期）（令和 3 年 3 月策定）

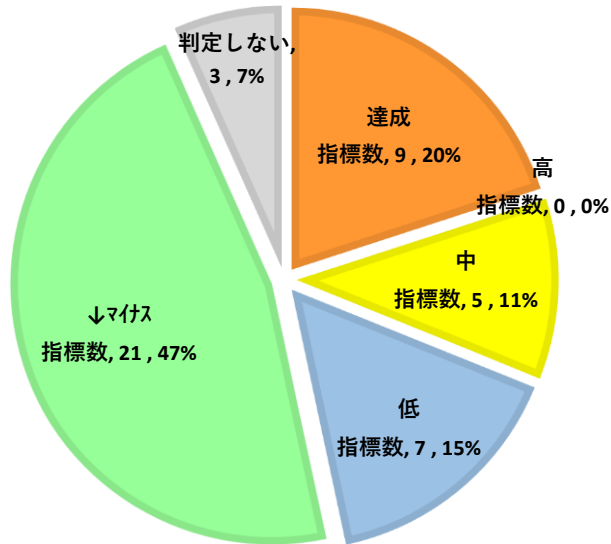
実施計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度

基本理念「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」

令和5年度の評価【阿賀野市教育振興基本計画 と 市総合計画成果指標による評価】

全体 45 成果指標からの達成割合

■ 達成 ■ 高 ■ 中 ■ 低 ■ ↓マイナス ■ 判定しない
 指標数 指標数 指標数 指標数 指標数



【目標達成度】

達成：目標を達成したもの

高：目標の達成まで残りわずかなもの
(目標値達成率 75%以上100%未満)

中：目標に半分以上近づいているもの
(目標値達成率 50%以上75%未満)

低：目標の達成には努力が必要なもの
(目標値達成率 0%以上50%未満)

マイナス：基準値(R1)を下回るもの

— (判定しない)：目標達成度を評価できないもの

数値が基準値と比較し、
横ばいか微増・微減

基本計画 区分	指標数	達成 指標数	高 指標数	中 指標数	低 指標数	↓マイナス 指標数	判定し ない	基準値(R1)から			前年度から		
								向上した数 ↗	下がった数 ↘	横ばい	向上した数 ↗	下がった数 ↘	横ばい
I	16	1	0	4	4	7		8	7	1	5	10	1
II	15	3	0	1	2	9		5	5	5	8	1	6
III	6	2	0	0	0	4		2	4	0	4	2	0
IV	8	3	0	0	1	1	3	4	1	0	3	1	1
計	45	9	0	5	7	21	3	19	17	6	20	14	8
割合	100.0%	20%	0%	11%	16%	47%	7%	45.2%	40.5%	14.3%	47.6%	33.3%	19.0%

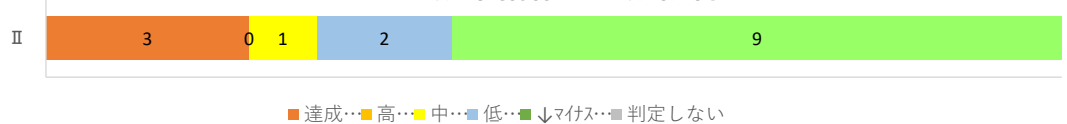
I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進

I 成果指標 達成割合



II 人生を豊かにする生涯学習の推進

II 成果指標 達成割合



III 地域協働による活動の推進

III 成果指標 達成割合



IV 安全・安心な教育環境づくりの推進

IV 成果指標 達成割合



令和5年度の評価〔阿賀野市教育振興基本計画と 市総合計画成果指標 対応表〕

阿賀野市教育振興基本計画	市総合計画 成果指標	R6目標値	実績値	対基準値	達成度	基準値R1
1 確かな学力の育成 (1)・授業改善の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現) (2)・学習習慣の確立 (3)・豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実 2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成 (1)・いじめや不登校を生まない学校づくり (2)・思いやりの心と命を大切にす道徳教育 (3)・健やかな体の育成 3 一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の充実 (1)・関係機関との連携による一貫した支援 (2)・全校体制による特別支援教育の推進 (3)・教職員の資質・専門性の向上 4 グローバル化・ＩＣＴ化に対応した教育の推進 (1)・英語力向上の取組 (2)・パソコンやタブレットの積極的な活用	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（児童）（点）	100	99.0	↑	中	98
	（生徒）（点）	100	95.0	↓	↓	98
	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（児童）（％）	95	87.3	横ばい	低	87.1
	（生徒）（％）	90	85.3	↑	低	83.9
	授業が分かる児童生徒の割合（児童）（％）	88	85.6	↑	中	82
	（生徒）（％）	80	72.2	↓	↓	76.9
	1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合（児童）（％）	85	65.4	↓	↓	69
	（生徒）（％）	70	49.9	↓	↓	57.6
	新体力テスト全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（児童）（％）	70	64.6	↑	中	57.8
	（生徒）（％）	60	61.9	↑	達成	52.5
	不登校率（児童）（％）	0.30	2.17	↓	↓	0.96
	（生徒）（％）	3.15	5.38	↓	↓	3.83
	基本的生活習慣ができている児童生徒の割合（児童）（％）	92	91.6	↑	中	91.2
	（生徒）（％）	92	88.9	↓	↓	89.9
	授業でコンピュータなどのＩＣＴを使用している割合（児童）（％）	100	31.4	↑	低	6.7
	（生徒）（％）	100	13.7	↑	低	2.6
学校教育課・教育センター	16指標			↑ 8	達成1	
1 生涯にわたって学ぶ場とその成果を社会に生かす場や機会の充実 (1)・多様な学びの場の充実と学習支援 (2)・学習機会や実践活動の充実 2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手の育成 (1)・文化財の保護・活用 (2)・地域文化を継承する人材の育成 3 健康でうおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充 (1)・芸術・文化活動の充実 (2)・スポーツに触れ合う機会の提供	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合（％）	15	9.6	↓	↓	10.8
	学習成果を家庭や地域や社会に還元している市民の割合（％）	10	6.8	横ばい	低	6.7
	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	20	13.9	横ばい	↓	14.4
	市民主体の年間学習活動回数（延べ）（回）	4,967	5,011	↑	達成	4,899
	社会教育関係団体認定件数（件）	104	83	↓	↓	92
	学習機会（テーマ・教室）が充実していると感じる市民の割合（％）	10	6.5	↓	↓	7.8
	生涯学習施設の満足度（％）	85	81.8	横ばい	↓	82.7
	この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合（％）	20	17.5	横ばい	↓	18.2
	スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数（人）	18,000	11,554	↓	↓	16,687
	この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合（％）	16	13.4	↓	↓	14.2
	生涯スポーツ施設の維持管理上の支障件数（市民に迷惑をかけた件数）（件）	0	0	↑	達成	0
	毀損が明らかになった文化財数（件）	0	0	↑	達成	0
	資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合（％）	14	11.8	横ばい	↓	12.4
	市民1人当たり蔵書数（冊）	5.2	4.43	↑	低	3.83
	市民1人当たり貸出冊数（冊）	3.0	2.71	↑	中	2.05
生涯学習課	15指標			↑ 5	達成3	
1 地域の産業・文化・伝統の学びを通した阿賀野市を愛する心の育成 (1)・学校・家庭・地域の協体制づくり (2)・地域学習の推進 2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進 (1)・社会に開かれた教育課程の推進 (2)・学校・地域との連携によるキャリア教育の推進 3 多様な体験活動や他者との関わりを通した、心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成 (1)・家庭の教育力の向上 (2)・地域の教育力の向上 (3)・健全な環境の整備	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数（人）	1,500	1,203	↓	↓	1,432
	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（児童）（％）	97	97.0	↑	達成	96.1
	（生徒）（％）	90	90.1	↑	達成	87.1
	地域行事に参加している児童生徒の割合（児童）（％）	90	80.6	↓	↓	86.2
	（生徒）（％）	60	42.1	↓	↓	55.9
	学校給食における地場産農産物使用率（％）	30	17.6	↓	↓	19
学校教育課・生涯学習課	6指標			↑ 2	達成2	
1 児童生徒が安心して学べる学校づくりの推進 (1)・「いじめ防止対策推進法」に基づいた取組 (2)・相談支援体制の充実 2 自分の命を守る防災教育等の充実 (1)・「防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進 (2)・「学校安全計画」に基づく安全教育の推進 3 安全・安心で快適な教育環境の整備・充実 (1)・学校施設の整備と機能向上 (2)・通学環境の安全確保 (3)・経済負担の軽減	いじめの認知件数（件）〔目標達成度評価なし〕	-	249	-	-	141
	いじめの解消率（％）	96	72.7	↓	↓	92.1
	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	0	0	↑	達成	0
	学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数（件）	0	0	↑	達成	0
	心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）（件）〔目標達成度評価なし〕	累計	46	-	-	-
	学校生活に起因する事故件数（災害共済給付金請求件数）（件）	210	274	↑	低	294
	通学環境に関する満足度（％）	90.5	91.7	↑	達成	90.5
	就学援助対象項目（項目）〔目標達成度評価なし〕	13	12	-	-	12
学校教育課	9指標			↑ 4	達成3	

第1節 I 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（学校教育課）

第1項 教職員配置・各種学校支援事業等に関すること

1. 市立認定こども園・小中学校の教職員配置状況

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成、I-2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成

○認定こども園

	園長	副園長	教員	介助員	用務員	調理員	その他	合計
認定こども園 京ヶ瀬幼稚園	1	1	13	0	1	4	13	33
合 計	1	1	13	0	1	4	13	33

○小学校

・兼は兼務 ・※日本語指導含む

	校長	教頭	教員	養護教諭	栄養教諭	事務	栄養士	学習支援教員	介助員	用務員	調理員	その他	合計
安田小学校	1	1	21	1	1	1		1	5	2		2	35
京ヶ瀬小学校	1	1	18	1	1	1		1	6	1		2	30
堀越小学校	1	1	9	1		1		*1	2	1		兼1	*17
水原小学校	1	1	32	1	1	1			8	2		2	48
安野小学校	1	1	12	1		1	1	1	5	1	4		28
笹岡小学校	1	1	9	1		1	1		4	1			19
神山小学校	1	1	9	1	兼1	1			1	1	3		18
合 計	8	8	116	8	3	8	2	4	31	10	10	5	210

○中学校

	校長	教頭	教員	養護教諭	栄養教諭	事務	栄養士	学習支援教員	介助員	用務員	その他	合計
安田中学校	1	1	15	1		1		1	1	1	兼1	23
京ヶ瀬中学校	1	1	16	1	兼1	1		1	2	1	兼1	24
水原中学校	1	1	34	1		1	兼1	1	5	2	兼1	45
笹神中学校	1	1	16	1		1	兼1	1	1	1		23
合 計	4	4	81	4		4		4	9	5		115

※その他小中：講師派遣ALT4人を配置、ICT支援員を業務委託

園児数

学校基本調査 R5.5.1

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計
認定こども園 京ヶ瀬幼稚園	6	12	12	22	17	18	87
合 計	6	12	12	22	17	18	87

児童・生徒数 上段はクラス数（1 クラスは記載なし、-は下学年と複式学級） 学校基本調査 R5. 5. 1

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	合計
安田小学校	2 42	2 47	2 51	2 67	3 71	3 51	4 22	351
京ヶ瀬小学校	3 80	2 43	2 53	2 51	2 47	2 48	4 24	346
堀越小学校	15	22	15	25	28	33	2 11	149
水原小学校	3 84	3 91	3 74	3 87	3 83	3 89	7 36	544
安野小学校	30	25	25	25	2 40	2 24	4 21	187
笹岡小学校	20	20	30	32	26	35	3 16	179
神山小学校	15	12	7	13	10	13	2 6	76
合 計	277	252	303	290	310	323	122	1, 877
安田中学校	3 75	2 60	2 64				2 6	205
京ヶ瀬中学校	2 60	2 51	2 44				2 14	169
水原中学校	4 140	4 125	5 148				5 30	443
笹神中学校	2 43	2 44	2 44				2 10	141
合 計	318	280	300				60	958

2. 教育指導主事配置事業

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成…(1)授業改善の推進

I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実…

-(3)教職員の資質・専門性の向上

事業内容	成果等
教育センターの運営を行うため、教育指導主事4人を配置しました。 令和5年度における教育委員会の基本方針「子どもの未来を拓く学校教育」を踏まえ、教員の資質・指導力向上を目指した指導・助言を行いました。 学校評価についても、学校運営改善につながるよう指導しました。	学校現場への各種支援や助言、指導、監督、研修等を行い、教育課題の解決が図られました。 小学校1教科(外国語)、中学校2教科(数学・英語)の学力向上プロジェクトを通して、教員の指導力向上が図られました。
(課題) 教員の資質・指導力向上のため、今後も継続した支援が必要です。	

3. 学習指導等に関する学校訪問

市教育振興基本計画 I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実…
 -(3)教職員の資質・専門性の向上

研修分野	回数	研修名	成果等
学校・園訪問研修	61 回	学習指導研修	学力向上に向けた指導法や評価法の習得が図られました。
		生徒指導研修	生徒指導上の課題解決策の充実が図られました。
		特別支援教育研修	特別支援教育の推進と充実が図られました。
小中学校学力向上プロジェクト	47 回	数学科研修 外国語科（英語）研修	学力向上に向けて授業改善の取り組みが行われました。
新採用研修	1 回	体験研修	教員として必要となる基礎的な資質の向上が図られました。
管理職研修	56 回	校長・教頭研修	学校運営上の課題解決のため、管理職の職務能力向上が図られました。
授業参観研修	28 回	学習指導研修	若手教員（阿賀野市勤務 2/2 2/5）の指導力向上が図られました。
（課題）学校訪問回数・教員への延べ指導回数とも増加（前年度比：24回増）しています。今後も継続した学習指導・学校訪問等で、教職員の資質や指導力の向上を図っていく必要があります。			

4. 学習支援教員配置事業

市教育振興基本計画 I-1 確かな学力の育成…-(1)授業改善の推進、-(2)学習習慣の確立

事業内容	成果等
学習内容の基礎・基本の定着と向上を図るため、個の習熟度に合わせた指導・支援を補助する学習支援教員（有資格者）7人を配置しました。	柔軟な学習班の編成や児童生徒指導・学習指導体制の充実、児童生徒の学校生活・活動の安定化が図られました。 ○学習支援教員配置校：7校 安田小、京ヶ瀬小、安野小、 安田中、京ヶ瀬中、水原中、笹神中
（課題）児童生徒の個に応じたきめ細かな指導・支援が求められています。今後も継続した指導・支援が必要です。	

5. 英語教育支援事業

市教育振興基本計画 I-4 グローバル化・ICT化に対応した教育の推進…-(1)英語力向上

事業内容	成果等
株式会社ハートコーポレーションから講師派遣を受けて、ALT（外国語指導助手）4人を配置しました。 他校配置のALTとふれあう機会として各学校でイングリッシュデイを設定しました。 夏休みには、小学4～6年対象にALTと交流するイングリッシュキャンプを行いました。	ALTが英語指導や国際理解教育を行うことにより、英語力の向上や外国文化への視野拡大が図られました。 ○イングリッシュデイ 小学校7校、中学校4校。全24回。 ○イングリッシュキャンプ 期日：8月2日（水） 参加者：15名
（課題）今後も継続した配置や英語にふれあう機会が必要です。	

6. 適応指導教室運営事業

市教育振興基本計画 I-3 一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実

…(1)関係機関との連携による一貫した支援

事業内容	成果等
学校への対応ができず不登校の状態又はその傾向にある児童生徒の学びの場として、適応指導教室（白鳥ルーム）を設置しました。指導員と各学校との連携を密に保ち、学習や諸活動を通じ自校への復学等を促しました。	不登校の状態又はその傾向にある児童生徒が白鳥ルームを利用することにより、自校への復学につながりました。 在籍者 小学生：15人 中学生：15人
（課題）今後も復学等を目標とし、多様な学びの場の提供が必要です。	

7. 人権・同和教育の推進

市教育振興基本計画 I-2 豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成

…(2)思いやりの心と命を大切にする道德教育

市教育振興基本計画 IV-1 安心して学べる学校づくり…(1)いじめ防止対策推進法に基づく取組

事業内容	成果等
第30回新潟県同和教育研究集会が開催され、各校から参加しました。越佐にんげん学校等人権講座に参加し理解を深めました。	8月1日(火)県同和教育研究集会 11人 同オンライン校内研修 11校
市教職員人権教育、同和教育研修会 対象等：市内校全教職員／オンライン 開催日：令和5年8月2日（水）	研修では「今だからこそ考える『人権教育・同和教育』」と題して講話を頂き、同和教育の諸状況、授業づくりや基本的な考え方などを学び、同和教育の推進体制の整備が図られました。
（課題）人権感覚を磨き、学校現場等で児童生徒へ接することが必要です。	

事業内容	成果等
京ヶ瀬中学校を道德教育研究指定校に指定しました。	指定校では公開授業や協議などを行い、道德教育の質向上が図られました。
（課題）限られた時数等のなかで、効果的な授業実施と教員研修が必要です。	

事業内容	成果等
いじめ問題対策連絡協議会 開催日：令和5年10月6日（金）	いじめの防止等に関する機関及び団体相互の連絡調整及び情報共有を行い、機関団体の連携の推進が図られました。
（課題）今後もいじめを防止する強い決意と、関係機関との強固な連携が必要です。	

8. 特別支援教育事業

市教育振興基本計画 I-3-(2)一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実 …全校体制による特別支援教育の推進

○介助員配置事業

事業内容	成果等
発達障がいや心身に障がいのある児童生徒の支援と安定した学習環境の充実を図るため、介助員を配置しました。	児童生徒の安全安心が保たれ、個別の指導計画に基づいた学習指導が行われました。 学級経営の安定化や充実が図られ、事業効果が見受けられました。
(課題) 支援を必要とする児童生徒が増えています。今後も継続した人員配置が必要です。	

<参 考> 介助員配置校と配置数

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
安田小学校	5 人	安野小学校	5 人	安田中学校	1 人
京ヶ瀬小学校	6 人	笹岡小学校	4 人	京ヶ瀬中学校	2 人
堀越小学校	2 人	神山小学校	1 人	水原中学校	5 人
水原小学校	8 人			笹神中学校	1 人
				合 計	40 人

○通級教室設置事業

事業内容	成果等
児童生徒の障がいの状況に応じた通級指導教室を設置しました。	言語障がいや発達障がいなど児童生徒の抱える困難を改善・克服するため、必要な支援が行われました。
(課題) 今後も継続した支援が必要です。また、通常の学級にも特別な支援を要する児童生徒が増加していくことが予想されるため、通級指導教室の拡充と指導者の育成を図っていくことが必要です。	

<参 考> 通級教室設置校及び通級者数

令和5年5月1日現在

学校名	教室名	教室数	通級者数	備 考
安田小学校	ことばの教室	1 教室	18 人	言語障がい通級指導教室
水原小学校	ことばの教室	2 教室	39 人	言語障がい通級指導教室
安野小学校	リソースルーム	1 教室	10 人	発達障がい通級指導教室
水原中学校	リソースルーム	1 教室	11 人	発達障がい通級指導教室

○発達障がい早期総合支援推進地域協議会事業

事業内容	成果等
発達障がい児やその家族に対し、医療・保健・福祉・教育・労働などの部局がそれぞれ横断的に連携し合い、できるだけ早期に適切な支援を行うことを目的に、発達障がい早期総合支援推進地域協議会の運営を行いました。	○総会 書面開催 ○地区部会 期日：夏休み期間中に、安田、京ヶ瀬、水原、安野・堀越、笹神の5地区で各1回開催 内容：情報交換 ○研修会 期日：9月13日（水） 内容：発達障がい支援講演会 「安心して送り出せる支援を」～特別支援の理解と役割～ 講師：NPO法人適正育成ラボ ふわっち® 理事長 五十嵐貴子 氏
(課題) 今後も関係機関との情報共有等の機会や連携が必要です。	

○教育支援事業

事業内容	成果等
障がいの程度や教育的ニーズに応じて適正な就学支援が図れるよう、訪問・観察調査や就学相談、教育支援委員会の運営等を行いました。	○教育支援調査 ・園学校訪問調査：5月～7月 保育園2園、認定こども園14園 小学校7校、中学校4校 ・観察調査：7月～11月 ・就学相談：6月～3月 相談件数：34件 ○教育支援委員会 ・地区委員会：10月下旬～11月中旬 対象者数：園児22人、児童生徒37人 ※安田、京ヶ瀬、水原、安野・堀越、笹神の5地区で各1回開催 ・教育支援委員会： 第1回：7月12日(水)対象者数：児童生徒10人 第2回：11月16日(木)対象者数：園児16人
(課題) 適正な就学支援のため、今後も委員会開催や関係機関の連携が必要です。	

9. 小中学校コンピュータ教育環境整備事業

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上
I-4-(2)グローバル化・ICT化対応した教育の推進・タブレット等積極的活用

事業内容	成果等												
学習者用デジタル教科書実証事業 （文部科学省）	令和５年度の国事業に参加し、市内全小学校の５・６年生及び中学校の全学年に英語の学習者用デジタル教科書を配備しました。 また、水原、安野、笹岡小学校の５・６年生に算数の学習者用デジタル教科書を配備しました。												
小学校校務用パソコン入替更新	小学校で使用している校務用パソコンが、使用開始から７～８年が経過し経年劣化（現在の使用における機器スペック（処理能力）不足）が進んでいるため、１５０台の入替更新を行いました。												
ICT 支援員配置事業（業務委託）	阿賀野市小中学校 ICT 活用計画に基づき、タブレット端末機等機器の使用や管理等の体制整備を図るため、ICT 支援員を配置し、教員への支援を行いました。												
小中学校 ICT 機器修繕	<table><tr><td>【修繕実績】（区分）</td><td>（小学校）</td><td>（中学校）</td></tr><tr><td>プリンタ</td><td>５台</td><td>３台</td></tr><tr><td>パソコン</td><td>－</td><td>２台</td></tr><tr><td>その他周辺機器</td><td>－</td><td>１台</td></tr></table>	【修繕実績】（区分）	（小学校）	（中学校）	プリンタ	５台	３台	パソコン	－	２台	その他周辺機器	－	１台
【修繕実績】（区分）	（小学校）	（中学校）											
プリンタ	５台	３台											
パソコン	－	２台											
その他周辺機器	－	１台											
（課題）今後も継続して、タブレット端末他 ICT 機器の利用促進や教員への支援を行う必要があります。													

第2項 研修に関すること

1. 阿賀野市新任教職員研修

市教育振興基本計画 I-3-(3)教育的ニーズに応える指導・支援の充実…教職員の資質の向上

事業名	内 容		成果等
校外体験研修	小中学校 新採用教職員 9 人 7 月 28 日（金）	保育体験 （あがの子育て支援センターにここ、やすだ児童クラブ、コスモス児童クラブ、認定こども園京ヶ瀬幼稚園）	教員として必要となる基礎的な資質の向上が図られました。
（課題）教員の基礎的な資質の向上を図る必要があります。			

2. 学校給食調理員等研修

市教育振興基本計画 I-2-(3)豊かな人間性や健康でたくましい心身の育成…健やかな体の育成

事業名	成果等
学校（園）給食関係職員夏季研修会	栄養教職員及び給食調理員あわせて 62 名が参加しました。教育委員会担当者が HACCP の概念や、衛生管理のポイントについて講義を行い、関係職員の資質向上を図りました。
（課題）衛生管理やアレルギー対応については、定期的に研修を開き、担当者の意識向上を図る必要があります。	

3. その他研修

他、第1節第1項3.「学習指導等に関する学校訪問」を参照。

研修分野・名	回数	研修内容	成果・課題等
学校情報セキュリティ研修(配信のみ)	1 回	情報セキュリティ研修	阿賀野市学校情報ネットワークの理解や学校における情報の取扱いについて意識向上が図られました。
I C T 授業研修	3 回	授業公開及び協議会の開催	授業公開及び協議会を通じて、ICT 機器の効果的な学習方法を検証し、より質の高い教育と教員の指導力の向上を図りました。
（課題）今後も継続した研修機会の提供が必要です。			

第3項 学校給食に関すること

市教育振興基本計画 I-2-(3)豊かな人間性や健康で逞しい心身の育成…健やかな体の育成

1. 年間給食回数

学校名	回数	学校名	回数	学校名	回数
安田小学校	191 回	笹岡小学校	192 回	笹神中学校	192 回
京ヶ瀬小学校	189 回	神山小学校	191 回	京ヶ瀬幼稚園	184 回
堀越小学校	195 回	安田中学校	190 回		
水原小学校	195 回	京ヶ瀬中学校	188 回		
安野小学校	193 回	水原中学校	186 回		

2. 給食調理業務の民間委託

事業内容		成果・課題等
給食調理業務を民間委託し、安全安心な学校給食を提供しています。		令和5年度中に令和7年度からの調理業務受注者をプロポーザル方式により決定し、適切な準備期間を設けました。 また、令和6年度からの神山小学校給食調理業務を民間委託する方針とし、受注者を決定しました。
(課題) 今後も安全な給食の提供を監督する必要があります。		
調理場 内訳	委託施設	安田学校給食センター、京ヶ瀬小学校、水原小学校、笹岡小学校 京ヶ瀬中学校、水原中学校、笹神中学校
	直営施設	安野小学校、神山小学校、京ヶ瀬幼稚園

3. 安心安全な給食の提供

事業内容	成果等
学校や市内農協と協力し、地場産物の利用や郷土料理の普及、将来の健康につながる減塩給食の実施などを行いました。11月の教育月間には、「キラッと新潟米☆地場もん献立」として、市内統一で地場産物を多く活用した献立を実施しました。 また、給食の実施状況を評価するため、6月に残食総量の調査、11月に残食率の調査を行いました。	- 学校給食地場産野菜使用率 17.6% (前年比-6.3%) - 市内統一減塩給食の実施 年5回実施 - 学校給食残食量 (R5.6月調査) 小学校 1.15t/月 (前年比+0.08t) 中学校 0.91t/月 (前年比-0.38t)
学校給食食材物価高騰対策補助事業を実施し、栄養価のとれた給食を実施しました。	1人1食あたり小学校6円、中学校19円、幼稚園13円を補助しました。
『阿賀野市学校給食衛生管理・異物混入防止マニュアル』に沿った適切な衛生管理の徹底を、各調理場へ呼びかけました。	学校給食異物混入件数 22件 (R4:10件) ※調理場内発見除く (内訳) 毛髪や虫等の混入:22件 硬質異物等の混入:0件
(課題) 夏季から初秋にかけての高温により、地場産野菜の供給量が減り、使用率が低下しました。使用率増加を目標にしていますが、天候に左右されるところが大きいです。また、異物混入が増えています。軽微な内容がほとんどですが、重大事故につながらないよう、注意喚起を行います。	

第 2 章 第 1 節 学校教育施策の課題と対応（教育センター）

令和 3 年 3 月、阿賀野市総合計画（後期基本計画）のまちづくりの後期目標を踏まえ、「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」を新たな基本理念とする阿賀野市教育大綱並びに阿賀野市教育振興基本計画を策定しました。

教育委員会では、この計画に基づき、学校や地域の実情を踏まえ、学校教育課と生涯学習課の分担と連携を軸に、各種の施策・事業を推進してきました。

阿賀野市教育振興基本計画のなかで、阿賀野市教育の基本理念の具現化に向けて、学校教育の基本方針を「個性や能力を伸ばす学校教育の推進」とし、令和 5 年度も事業を推進してきました。

ここでは、令和 5 年度に実施した事業や今後の重点的な課題に絞って、今後に向けての問題点や課題と対応を総括しました。

第1節 個性や能力を伸ばす学校教育の推進（教育センター）

第4項 学力の向上と学習習慣の改善

1. 全国学力調査結果から 現状と課題 ～小学6年生 & 中学3年生～

全国学力・学習状況調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象としています。

※全国学力学習状況調査の学力については、教育活動の一側面であること及び小学校6年及び中学校3年生の状況であることに留意する必要があります。

【小学校6年生 標準化得点と正答数】

年度 調査項目	阿賀野市							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	令 2	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
国語 A（知識）	99	101	100	99	調 査 中 止	98	98	99
国語 B（活用）	99	99	99					
算数 A（知識）	101	100	100	97		98	97	99
算数 B（活用）	99	98	98					
理科			99				98	
国語 A（知識）	10.8/15	11.4/15	8.4/12	8.7/14		8.4/14	8.7/14	9.1/14
国語 B（活用）	5.6/10	5.0/ 9	4.3/ 8					
算数 A（知識）	12.7/16	11.7/15	8.8/14	8.4/14		10.6/16	9.1/16	9.5/16
算数 B（活用）	5.9/13	4.7/11	4.6/10					
理科	*	*	9.3/16	*		*	10.1/17	*

【中学校3年生 標準化得点と正答数】

年度 調査項目	阿賀野市							
	28年度	29年度	30年度	31年度	令2	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国語A（知識）	100	98	97	99	調査中止	98	98	95
国語B（活用）	99	98	97	97				
数学A（知識）	99	98	96	97		95	96	95
数学B（活用）	99	98	96	96				
理科	*	*	97	*		*	97	*
英語				97		*	*	94
国語A（知識）	25.2/33	23.6/32	22.7/32	7.1/10		8.6/14	9.0/14	8.8/15
国語B（活用）	5.8/9	6.1/9	5.0/9	5.0/9				
数学A（知識）	21.7/36	21.7/36	20.8/36	8.6/16		7.4/16	6.0/14	5.6/15
数学B（活用）	6.3/15	6.6/15	5.2/14	5.2/14				
理科	*	*	16.1/27	*		*	9.0/21	*
英語				10.6/21		*	*	5.2/17

※英語は「聴くこと」「読むこと」「書くこと」についての結果です。

1 標準化得点における傾向と分析

(1) 小学校 6 年生の標準化得点について (P24 参照)

阿賀野市小学校 6 年生の標準化得点は、国語科、算数科ともに全国を 1 ポイント下回りましたが、国語科は前年度調査から 1 ポイント、算数科は前年度調査から 2 ポイント改善しました。阿賀野市の小学校 6 年生は、国語科、算数科ともに、ほぼ全国と同程度であるといえます。しかし、まだ市総合計画成果指標には届かない状況にあります。

正答率を観点別にみると、国語科では、「知識・技能」が全国平均より 2.6 ポイント、「思考・判断・表現」が 1.3 ポイント、算数科では、「知識・技能」が 3.7 ポイント、「思考・判断・表現」が 3.1 ポイント下回っています。

阿賀野市小学校 6 年生の学力は改善傾向にあるものの、学力の一層の向上に向け、知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成を図る必要があります。

(2) 中学校 3 年生の標準化得点について (P24 参照)

阿賀野市中学校 3 年生の標準化得点は、前年度調査より国語科は 3 ポイント、数学科は 1 ポイント下降しました。英語科（話すを除く）は平成 31 年度調査から 3 ポイント下降しました。また、全国と比較すると、標準化得点は、国語科、数学科ともに全国を 5 ポイント、英語科は 6 ポイント下回っており、市総合計画成果指標に届かない状況にあります。阿賀野市中学校 3 年生の学力は、明らかに低い状況にあったといえます。

正答率を観点別にみると、国語科では、「知識・技能」が全国平均より 10.2 ポイント、「思考・判断・表現」が 13.0 ポイント、数学では「知識・技能」が 12.7 ポイント、「思考・判断・表現」が 16.0 ポイント下回っています。また英語科では、「知識・技能」が 18.9 ポイント、「思考・判断・表現」は 10.6 ポイント下回りました。

いずれの教科についても観点別正答率が全国平均を 10 ポイント以上下回っていることから、阿賀野市中学校 3 年生については、知識・技能の確実な習得及び思考力・判断力・表現力の育成の育成が小学校以上に大きな課題です。

2 学習意識の傾向と課題

【授業の内容はよくわかる」と肯定的回答をした小学校 6 年生、中学校 3 年生の割合】

R5 結果	小 学 校		中 学 校	
教 科	全 国 (%)	阿賀野市 (%)	全 国 (%)	阿賀野市 (%)
国 語	85.7	88.5	80.0	83.6
算数・数学	81.2	82.6	73.3	75.5
英 語			63.9	51.8

(1) 小学校 6 年生について

阿賀野市小学校 6 年の肯定的評価は国語科 88.5%で、前年度調査より 2.3 ポイント上昇するとともに、全国を 2.8 ポイント上回りました。算数科も前年度調査より 2.1 ポイント上昇し 82.6%となり、また全国を 1.4 ポイント上回りました。2 教科平均では 85.5%となり、指標には届きませんでした。概ね良好な状況にあるといえます。

(2) 中学校 3 年生について

阿賀野市中学 3 年生は、国語科は 83.6%で前年度調査より 2.6 ポイント下降しました

が、全国を 3.6 上回りました。数学科は 75.5% で前年度調査より 4.9 ポイント下降しましたが、全国を 2.2 ポイント上回りました。しかし、英語科は 51.5% で前回調査（平成 31 年度）より 5.2 ポイント下降し、また、全国を 12.4 ポイント下回っています。3 教科の平均は 70.2% であり、市の指標を大きく下回りました。その要因としては、特に英語科の肯定的回答の割合が低いことが影響したと考えられます。

3 家庭学習習慣

【「平日 1 日当たりの児童生徒の家庭学習時間（月～金）」】

R5 結果	小 学 校		中 学 校	
時 間	全 国 (%)	阿賀野市 (%)	全 国 (%)	阿賀野市 (%)
3 時間以上	11.8	3.8	10.3	3.7
2 時間以上 3 時間未満	13.8	9.5	23.4	14.4
1 時間以上 2 時間未満	31.5	52.1	32.1	31.8
30 分以上 1 時間未満	26.9	28.3	18.0	25.8
30 分未満	11.4	5.7	9.9	18.4
全くしない	4.6	0.6	6.0	5.7

阿賀野市小学校 6 年生及び中学校 3 年生の家庭学習の最多時間帯は、「1 時間以上 2 時間未満」となり、この傾向はこれまでと変わりありませんが、この時間帯の割合も前年度調査より小学校 6 年生で 2.6 ポイント、中学校 3 年生で 10.6 ポイント下降しました。さらに、「2 時間以上」では小学校 6 年生及び中学校 3 年生ともに、全国を下回りました。1 時間以上の家庭学習の割合は、小学生及び中学生ともに、市総合計画の指標を下回りました。

学力向上には、家庭学習は不可欠です。阿賀野市の各小中学校では、家庭学習の習慣化を目指して、家庭学習プランニングタイム(学校により名称は異なります)を設けてきました。その結果、家庭学習に取り組む児童生徒の割合は、全国学力・学習状況調査が始まったところと比較すると格段に高くなりました。しかし、スマートフォン等の所持率の上昇に伴い、小学校 6 年生及び中学校 3 年生ともに家庭学習実施率が下降してきています。当面家庭学習「1 時間未満」の児童・生徒の割合を減少させることが課題です。

2. 課題解決に向けて

市内各小中学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、児童・生徒主体の授業になるよう改善を進めています。その成果として、「授業が分かる」と肯定的評価をしている児童生徒が増えてきていると考えます。

しかし、この意識が必ずしも学力に結びついていないといえます。その要因として、全児童生徒が「分かる」授業には至っていないこと及び学習内容を定着させるために不可欠な繰り返しの学習、特に家庭学習の不足が考えられます。

1 一層の授業改善促す

(1) 各種訪問により授業改善の視点について指導・助言する

教育センターの学習指導計画・要請訪問、中学校学力向上プロジェクト(数学、英語)、授業参観研修や阿賀野市学校教育研究協議会をとおり、主体的・対話的深い学びについて、指導助言をし、全児童生徒が「分かる授業」を目指していきます。

(2) 令和5年度から実施した標準学力調査を継続する

阿賀野市で実施している独自の学力調査を、令和5年度から、実施時期を4月から12月に変更しました。併せて、以前の学力調査より思考力・判断力・表現力を問う問題が多い調査に変更しました。この変更により、以下の3点が期待できます。

- ① 児童生徒の学力及び定着が不十分な学習内容を的確に把握し、当該年度の内に学び直しや補充学習が可能となり、児童生徒の学習内容の定着が期待できる。
- ② 教師が1年間の指導の成果を確認し、教育に携わる専門職としての自覚を促すことができる。
- ③ 阿賀野市児童生徒の課題である思考力・判断力・表現力の育成に着目した授業改善が期待できる。

2 家庭学習習慣の確立と充実に向けて

家庭学習の実施率の低下傾向を打開するためには、児童生徒が家庭学習のよさを実感することが必要です。そのため、授業と関連した家庭学習（予習や授業の要点を家でまとめ振り返る等）を進めるよう助言していきます。

併せて、家庭学習の時間の確保に向け、保護者と連携したメディアコントロールを一層進めていきます。また、「勉強することの意義や意味」を、キャリア教育等をとおして指導していきます。

第5項 児童生徒の体格・体力等の状況について

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から 現状と課題

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象としています。

○小学5年生の体格<令和5年度調査より>

		身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
		平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
小学5年生男子	全国	139.61	50.0	35.35	50.0	1.4%	5.6%	6.7%	83.5%	2.7%	0.1%
	新潟県	140.15	50.9	35.84	50.6	1.1%	6.3%	7.1%	82.5%	3.0%	0.0%
	阿賀野市	140.09	50.8	36.03	50.8	0.0%	8.4%	6.3%	81.1%	4.2%	0.0%
小学5年生女子	全国	141.26	50.0	35.24	50.0	0.8%	3.7%	5.3%	87.4%	2.8%	0.1%
	新潟県	142.13	51.3	35.83	50.8	0.8%	3.6%	5.7%	87.0%	2.9%	0.1%
	阿賀野市	143.18	52.8	36.48	51.7	1.7%	4.6%	4.0%	88.4%	1.2%	0.0%

(1) 小学5年生の体格

小学5年生男子の体格は、体格得点（全国平均値を50）で見ると、身長、体重共50.8で全国平均値を上回っています。また、小学5年生女子の体格も、体格得点で身長が52.8、体重が51.7と全国平均を大きく上回る結果でした。

体格面では、男女共に全国平均値を上回り、よい傾向にあります。

肥満傾向（高度、中等度、軽度の合計）の割合は、小学5年生男子が14.7%と昨年度の15.8%よりさらに減少し、高度肥満も0.0%と改善傾向が見られました。

一方、小学5年生女子の肥満傾向の割合も10.3%と昨年度の15.6%を大きく下回り良好といえますが、高度肥満は1.7%と全国・県より高い比率でした。

ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により、運動領域の制限や日常生活における食生活の乱れ等から体力低下や肥満傾向が見られていましたが、昨年度から徐々に改善されてきています。ただ、今後も学校と家庭・専門機関との連携を強固にしながら、健康面について指導改善を図っていく必要があります。

○小学5年生の体力・運動能力<令和5年度調査より>

		握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		シャトルラン (回)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
小学 5年生 男子	全国	16.13	50.0	19.00	50.0	33.98	50.0	40.60	50.0	46.92	50.0
	新潟県	16.80	51.7	19.47	50.8	35.38	51.6	43.08	53.0	52.76	52.7
	阿賀野市	17.46	53.4	20.84	53.0	35.49	51.7	43.47	53.5	50.75	51.8
小学 5年生 女子	全国	16.01	50.0	18.05	50.0	38.45	50.0	38.73	50.0	36.80	50.0
	新潟県	16.65	51.6	18.45	50.7	39.83	51.5	41.54	53.8	43.27	54.0
	阿賀野市	17.15	52.9	19.18	52.1	40.73	52.5	42.24	54.7	43.58	54.2
		50m 走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ソフトボール 投げ(m)		体力合計点 (点)			
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
小学 5年生 男子	全国	9.48	50.0	151.13	50.0	20.52	50.0	52.59	50.0		
	新潟県	9.51	49.8	154.16	51.3	21.09	50.7	54.64	52.1		
	阿賀野市	9.56	49.3	154.47	51.4	21.93	51.7	55.57	53.1		
小学 5年生 女子	全国	9.71	50.0	144.29	50.0	13.22	50.0	54.28	50.0		
	新潟県	9.69	50.2	148.25	51.8	14.05	51.7	56.88	52.9		
	阿賀野市	9.60	51.2	153.24	54.0	13.65	50.9	58.05	54.2		

(2) 小学5年生の体力・運動能力

小学5年生男子の体力・運動能力は、50m 走を除き7種目で全国平均値を上回り、高い体力・運動能力を有しています。体力合計点も53.1点と高く、体力合計平均値の都道府県比較で見ると全国4位に相当します

小学5年生女子の体力・運動能力も全8種目で全国平均値を上回り、高い値を維持しています。体力合計点54.2点は都道府県比較では全国2位に相当するほか、全ての項目で全国比50を超えるなど、素晴らしい結果となっています。

以上、阿賀野市の小学5年生の体力・運動能力は、男女共に高い値を維持しています。これは、全ての市内小学校で体力向上策が、意図的・計画的に全校体制で実践されている成果といえます。また、小学校5学年は、全種目で全国平均値を超えていますが、体力・運動能力の向上に向け、改善の余地はまだまだあります。

今後も、この結果に満足することなく、学校における体力向上を目指した体育授業形態の工夫や日常的な運動量の確保を図った効果的な活動を継続していくことが、大切と言えます。

○中学２年生の体格<令和５年度調査より>

		身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
		平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
中学 ２年生 男子	全国	161.17	50.0	50.22	50.0	1.5%	4.1%	5.0%	86.2%	3.0%	0.2%
	新潟県	161.97	51.1	50.78	50.5	1.6%	4.3%	4.2%	86.8%	3.0%	0.2%
	阿賀野市	162.46	51.7	49.72	49.5	0.0%	3.4%	1.3%	90.6%	3.4%	1.3%
中学 ２年生 女子	全国	154.94	50.0	46.87	50.0	0.6%	2.4%	4.0%	88.9%	3.8%	0.2%
	新潟県	155.32	50.7	46.90	50.0	0.4%	2.1%	3.9%	89.7%	3.8%	0.2%
	阿賀野市	155.88	51.7	46.60	49.6	0.0%	1.6%	2.3%	93.0%	3.1%	0.0%

(３) 中学２年生の体格

中学２年生男子の体格は、体格得点（全国平均値を50）で見ると、身長が51.7と全国よりやや高く、体重は49.5とやや低い結果でしたが全国平均値とほぼ同等と言えます。

肥満傾向（高度、中等度、軽度の合計）の割合は、昨年度16.8%から4.7%と大幅に減少し高度肥満も0.0%でした。

一方、中学２年生女子の体格は、体格得点で身長が51.7、体重が49.6。肥満傾向の割合は昨年度の4.8%から3.9%、高度肥満は0.0%と男子と同じような傾向でした。

痩身傾向の割合も全国に比べて低く高度やせは0.0%でした。普通体形の割合が93%を超え、バランスの取れた体形といえます。

中学校も小学校同様、体力低下や肥満傾向が徐々に改善されてきていますが、今後も学校と家庭・専門機関と連携しながら、健康面について指導改善を図っていく必要があります。

○中学２年生の体力・運動能力<令和５年度調査より>

		握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		シャトルラン (回)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
中学 ２年生 男子	全国	29.02	50.0	25.82	50.0	44.16	50.0	51.22	50.0	78.07	50.0
	新潟県	30.03	51.4	26.55	51.2	47.06	52.6	51.42	50.2	79.43	50.5
	阿賀野市	30.00	51.3	26.88	51.7	53.32	58.2	51.25	50.0	79.97	50.7
中学 ２年生 女子	全国	23.15	50.0	21.62	50.0	46.27	50.0	45.65	50.0	50.70	50.0
	新潟県	23.72	51.2	22.29	51.1	48.95	52.5	46.05	50.5	52.28	50.8
	阿賀野市	23.91	51.6	23.15	52.6	53.49	56.8	45.94	50.4	52.51	50.9

		50m 走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール 投げ(m)		体力合計点 (点)	
		平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
中学 ２年生 男子	全国	8.01	50.0	197.02	50.0	20.40	50.0	41.32	50.0
	新潟県	7.98	50.3	201.21	51.4	21.09	51.1	43.27	51.8
	阿賀野市	7.80	52.2	201.91	51.6	22.32	53.1	45.42	53.8
中学 ２年生 女子	全国	8.95	50.0	166.34	50.0	12.43	50.0	47.22	50.0
	新潟県	8.91	50.5	169.52	51.2	12.73	50.7	49.24	51.7
	阿賀野市	8.74	52.4	171.96	52.1	13.28	52.0	51.12	53.3

(4) 中学2年生の体力・運動能力

中学2年生男子の体力・運動能力は、全種目で全国平均値を上回りました。体力合計点も53.8と昨年度48.9を大幅に超える結果となり、都道府県比較でみると全国1位でした。

特に、持久力を要する種目(20m シャトルランや反復横跳び)の2種目が著しく向上したことが大きな要因といえます。

一方、中学2年生女子の体力・運動能力も、体力合計点が53.3と昨年度51.4を大きく上回り、男子同様都道府県比較でみると全国1位でした。

当市の中学校の体力・運動能力は男女共に全国トップクラスにあると言えます。

(5) 質問紙から見た児童生徒の意識調査結果<令和5年度調査> ()内は全国平均数

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
運動が好き	73.3%(72.1%)	50.0%(54.5%)	62.5%(63.4%)	41.9%(43.1%)
運動は大切	74.0%(71.2%)	60.3%(59.3%)	67.8%(66.6%)	48.1%(49.0%)
体育授業は楽しい	71.2%(74.7%)	50.6%(59.0%)	63.8%(53.6%)	42.6%(38.6%)
運動に目標を立てる	84.9%(76.9%)	82.2%(73.9%)	75.5%(71.4%)	63.3%(66.8%)
朝食は毎日食べている	84.2%(80.8%)	76.9%(79.4%)	82.9%(79.9%)	76.7%(72.7%)

「運動が好き」「大切」「楽しい」といった肯定評価の割合は小中共、昨年度に比べ全体的に高い傾向にありますが、全国平均値との比較で見ると、ほぼ同程度と言えます。

◎毎日、どのくらい寝ていますか

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
「10時間以上」	4.8%(10.5%)	5.2%(9.9%)	2.6%(2.7%)	0.8%(1.4%)
「9時間以上10時間未満」	23.4%(26.7%)	20.1%(28.7%)	7.3%(6.9%)	5.4%(5.0%)
「8時間以上9時間未満」	36.6%(30.6%)	32.2%(31.7%)	15.2%(20.2%)	10.9%(15.8%)
「7時間以上8時間未満」	29.0%(20.2%)	32.2%(19.1%)	40.4%(37.6%)	42.6%(33.7%)
「6時間以上7時間未満」	3.4%(8.4%)	8.0%(8.0%)	29.8%(24.7%)	31.0%(32.4%)
「6時間未満」	2.8%(3.6%)	2.3%(2.6%)	4.6%(7.9%)	9.3%(11.8%)

睡眠時間については小中の男子共に10時間以上の割合が昨年度より減少し、「7時間以上8時間未満」の割合が昨年度より高くなっています。

また、中2女子は6時間未満の割合が昨年度の15.9%から9.3%と大幅に減少しました。

その他の項目は小・中共全国の数値(比率)と著しい差はなくなり改善傾向にあります。

◎平日、どれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマホ、PCの画面を見ていますか

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
「5時間以上」	13.7%(17.6%)	13.2%(13.8%)	17.1%(17.7%)	10.9%(16.4%)
「4時間以上5時間未満」	11.0%(10.6%)	5.7%(10.0%)	10.5%(12.0%)	8.5%(12.0%)
「3時間以上4時間未満」	17.1%(14.1%)	13.8%(13.2%)	17.8%(18.4%)	28.7%(18.5%)
「2時間以上3時間未満」	31.5%(21.1%)	30.5%(19.7%)	36.8%(26.5%)	33.3%(25.8%)
「1時間以上2時間未満」	18.5%(22.9%)	28.2%(24.2%)	13.8%(19.7%)	16.3%(20.3%)
「1時間未満」	8.2%(11.9%)	5.7%(16.7%)	3.3%(5.0%)	2.3%(6.4%)
「全く見ない」	0.0%(1.8%)	2.9%(2.4%)	0.7%(0.7%)	0.0%(0.5%)

メディア時間については「4 時間～5 時間」の割合が昨年度に比べ大幅に減少しました。これは、各校で保健指導に力を注ぎ家庭への働きかけも功を奏している結果と思われます。

なお、睡眠とメディア時間の関連で見ると、良く寝る生徒もメディア視聴時間が長い生徒も相対的に男子の割合が高い傾向にあります。

一方、少数ではありますが、睡眠6 時間未満の生徒も一定数見られます。健康の重要性を再確認し、児童生徒及び家庭への働きかけを今後も粘り強く継続し、児童生徒の健やかな「心と体の健康」をさらに高めていく必要があります。

④体育授業で「できる・分かるようになったとき」

質問項目	小学5年生男子	小学5年生女子	中学2年生男子	中学2年生女子
目標やねらいを意識	33.6%(35.8%)	33.3%(28.4%)	37.3%(30.1%)	32.6%(24.2%)
友達と教え合い助け合い	35.4%(36.3%)	35.8%(35.1%)	42.7%(35.6%)	35.9%(33.7%)
ICT を使って学習	22.6%(20.8%)	23.7%(18.5%)	30.3%(18.8%)	23.4%(14.3%)
振り返る活動	34.2%(33.2%)	38.7%(30.5%)	42.1%(30.8%)	39.1%(27.6%)

全体的に見ると、小・中共に全国平均値とほぼ同等かやや高い結果でした。

ただ、上記の項目は運動量の確保を前提とした取組が不可欠と言えます。また、昨年度、体育授業で「できなかったことができるようになったきっかけ」の要因は「友達の助言」「示範」「教師の個別指導」等が上位を占めていました。指導者はこの点を注視して今後も授業にあたるのが大切といえます。

2. 課題解決に向けて

当市では、令和3 年度末までは新型コロナウイルス感染予防のため、体育領域については水泳授業をはじめ身体接触を伴う運動や集団で行う運動など、活動の中止又は制限を余儀なくされるものが多くありました。

しかし、このような環境下においても、学校生活で運動の場を保障することは必須であり、新潟県が取り組んでいる「1 学校1 取組運動」を柱とした各校の重点的な取組や全校体制での効果的な取組、体育時間における準備運動の工夫等、運動量の確保と運動の質の向上を中核に据えていくことを最重要課題に位置づけ取り組んできました。

このような継続した取組が、本年度の体力向上の結果に結びついていると思います。

今後も、このような取組を継続して実践していくことが不可欠と捉えています。

併せて、体育は健康・体力の向上が最大の目標ではありますが、ペアでの活動やチームに分かれての集団ゲーム、縦横整列を含めた集団行動等、必然的に生じる「人とかかわり」を深める活動に大きな教育効果が得られます。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問内容「体育の授業でできる・分かるようになったときの理由は何ですか」の項目の上位には、全国小・中学校の男女共「友達と教え合ったり助け合ったりすること」をあげています。

今後も運動量の確保を大前提にしながら、助け合いや話し合い活動、ICT 機器の有効な活用等を通して授業改善を図り、児童生徒の「心と体の健康」をさらに高めていくために各校への有効な情報提供と訪問を通した適切な指導助言を行っていきます。

第6項 生徒指導について

1. いじめ・不登校の解消の推進について 現状と課題

令和5年度 学校におけるいじめについて

	R5	前年比増減 (R4)	解消率	いじめ発見のきっかけ:件	
				本人・保護者	教員
小学校	203 件	+14 (189)	84.1% (191 件/203 件)	148	55
中学校	79 件	+19 (60)	100% (79 件/79 件)	28	51

令和5年度 不登校について

※R5 は暫定値です

	R5 発生率(人)※	前年比増減 人	R4 発生率(人)	学校内外の機関で相談指導
小学校	3.21% (59 人)	+18	2.17%(41 人)	42 人/59 人 (37 人/41 人)
中学校	6.02% (56 人)	+3	5.38%(53 人)	37 人/56 人 (16 人/53 人)
<不登校児童生徒について把握した事実> 生活リズムの不調 やる気が出ない 不安・抑うつ 障害に起因する特別な支援 学業不振				

(学校におけるいじめの状況)

令和4年度と比較して、いじめの認知件数は増えています。昨年度に引き続き、いじめの積極的な認知が行われています。初期段階の小さな訴えやトラブルもいじめとして積極的に認知し、解消に向けて取り組んでいます。各校では、年間複数回のアンケート調査と教育相談を行い、どんな小さいいじめも見逃さない積極的な認知に努めています。また、被害児童生徒が苦痛に感じているものは「いじめ」として、被害児童生徒の立場に立った認知を行っています。

いじめの解消判断について、「3カ月以上様子を見守る」「被害児童生徒とその保護者に直接聞いて確かめる」ことを徹底しています。解消判断を慎重に行っています。

(成果) 被害児童生徒の立場に立った積極的ないじめの認知が行われている。

いじめの解消判断を慎重に行っている。

(課題) 人権を大切にすることを基盤とした発達支持的生徒指導に取り組むこと。

(不登校の状況)

阿賀野市における不登校の発生率は、令和4年度と比べて、小学校も中学校も増えました。特に小学校では大幅な増加となりました。不登校が増加した要因としては、学校に対する保護者の意識が変化していることが考えられます。文部科学省から **COCOLO** プランが出され、多様な学びの場が示されました。「学校だけが学びの場ではない」「無理に学校に行かなくてもよい」と考える保護者が増えてきているようです。

外部専門機関及び校内で相談指導を受けた児童生徒の人数及び割合が増えてきています。特に、中学校では大幅に増えてきています。専門的な立場からの相談指導を受けることができます。また、学校だけでなく、いろいろな場所とつながることができます。児童生徒が孤立する

ことなく、支援が受けられるようになってきています。学校が外部の専門機関と連携していくことで、不登校の解消につながると考えられます。

(成果) 外部専門機関や校内で相談指導を受ける児童生徒が増えている。

(課題) 「子どもとともに1・2・3運動」「5日以上欠席した場合に早急に校内対策会議を開いて働きかける」等の初期対応が遅れる場合があること。初期対応の遅れにより、学校復帰が難しくなっている事例がある。

(関連附属機関について)

附属機関名	内 容	開催頻度	R5 開催実績
阿賀野市いじめ問題対策連絡協議会	いじめの実態について情報の共有 いじめ防止の取り組みについて情報連携推進	年1回	R5. 10. 6
阿賀野市いじめ防止サポート委員会	<u>教育委員会の諮問機関</u> 重大事態に係る事実関係を調査審議	随時	なし

2. 課題解決に向けて

人権を大切にすることを基盤とした発達支持的生徒指導に取り組んでいきます。お互いを認め合い共に協力し合う人間関係を構築していきます。道徳や特別活動の教育計画を見直し、発達支持的生徒指導に継続的に取り組んでいく特色ある教育活動を推進していきます。児童生徒も教師も人権感覚を磨き、いじめの認知やいじめをなくしていくことについて共通理解を図っていきます。

いじめの問題を職員が一人で抱え込むことなく、いじめの解決に向けて学校組織として適切に対応できるよう、各校に指導していきます。被害児童生徒の立場に立ったいじめの積極的な認知、注意深く見守り被害児童生徒と保護者に直接確認する慎重な解消判断に取り組んでいきます。

不登校児童生徒への対応では、「子どもとともに1・2・3運動」及び新規で5日以上欠席した児童生徒について教育委員会に速報を入れる「早期相談システム」の確実な実施による初期対応に力を入れていきます。児童生徒の小さなサインと変化を見逃さず、アセスメントに基づいて児童生徒の困り感に支援していきます。

市の相談員、市の相談機関、各校に配置されているスクールカウンセラー、下越教育事務所のスクール・ソーシャルワーカー、児童相談所、医療機関などと連携して児童生徒の支援に取り組んでいきます。

第7項 特別支援教育の充実

1. 現状と課題

特別な支援を要する幼児児童生徒は年々増加傾向を示しています。これまでに市独自の仕組みを立ち上げ、関係機関が連携して適切な就学に係る教育支援に当たることや特別支援教育を充実させることなどの対応を進めてきました。

しかし、幼稚園、認定こども園、保育園や小・中学校の現場における幼児児童生徒の実態が多様化しており、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援に一層努めていく必要があります。また、教職員の専門性の向上を図るとともに介助員の計画的な配置など個別支援体制の拡充が求められています。

○特別支援学級在籍児童生徒数の推移

(各年4月1日現在、単位：人)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	知的障がい	27	24	25	34	36	46	50	45	49	56
	自閉・情緒	35	43	46	49	51	53	78	82	72	80
	肢体不自由						2	2	2	1	1
	計	62	67	71	83	87	101	130	129	122	137
中学校	知的障がい	12	14	18	19	16	18	14	23	27	31
	自閉・情緒	24	19	23	25	27	23	26	21	24	28
	計	36	33	41	44	43	41	40	44	51	59

2. 課題解決に向けて

障がいのある幼児児童生徒やその家族の支援では、早期の発見と対応が大切であり、障がいの種別に応じた適切な取組が求められています。これまでの阿賀野市の実績と成果を生かし、下記の取組を一層推進していきます。

- (1) 市内全ての小・中学校や幼稚園、認定こども園、保育園に「特別支援教育訪問」を実施し、実態を把握するとともに、早期の支援につながるよう努めます。
- (2) 就学時健診や就学に係る教育相談、教育支援委員会の充実を図ります。
- (3) 発達障がい早期総合支援推進地域協議会や同地区部会の充実を図ります。
- (4) 健康推進課や社会福祉課、市社会福祉協議会の「こどものことばとこころの相談室」、専門医、県立駒林特別支援学校など関係機関との連携を促進します。
- (5) 小・中学校においては、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等に応じた教育課程の編成・実施となるよう指導助言を行っていきます。
- (6) 教職員や介助員等の資質向上のため、発達障がいに関する研修の機会充実に努めます。
- (7) インクルーシブ教育システムの視点からも、適切な学びの場を検討するとともに、通級指導教室の拡充を計画的に進めていきます。

第8項 快適な学習・生活環境整備及び長寿命化の推進

1. 現状と課題

快適な学習・生活環境整備の課題の一つでありましたエアコンの設置については、全小中学校で令和元年度からの使用環境が整いました。トイレの改修については、洋式化や乾式化が未整備となっている学校施設の整備内容や整備時期を精査していく必要があります。

老朽化対策については、これまで竣工後、概ね50年程度で建て替えが行われてきましたが、財政状況が厳しさを増す中、可能な限り今ある学校施設を生かし、コストを抑えながら新築同等の学習・生活環境が確保できる「長寿命化改修」への切り替えが必要となっています。

また、各小学校のプール施設についても老朽化が進んでおり、個別の改修や長寿命化に限らず、市全体として学校プール事業実施の方向性を決定する必要があります。

このため、今後は令和元年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設整備全般について、事業費や事業年度計画を企画・財政部局と協議・調整を行い、市全体の事業計画の中に学校施設整備をしっかりと位置付けていくことが課題となっています。

2. 課題解決に向けて

- (1) 学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設整備を計画的に実施します。
- (2) 長寿命化改修に当たり、単なる老朽改修ではなく、施設の機能や性能を向上させて時代のニーズに即した施設に再生します。
- (3) 文部科学省の交付金等財源確保や地方債の充当に対して財政担当と連携します。
- (4) 施設改修工事を進めるに当たり、学校の授業・諸行事との調整や生徒・教職員はもとより、工事関係者の事故がないよう安全管理を徹底します。
- (5) 工事の進捗状況や改修状況を把握するとともに、施設改修の必要性を認識してもらうため、教育委員会や市議会総務文教常任委員会の視察等を適切に実施します。

第2節 II 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）

第1項 社会教育・公民館に関すること

1. 家庭教育

市教育振興基本計画 Ⅲ-3-多様な体験活動や心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成
 ……(1)家庭の教育力向上

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
家族体験教室	園児・小学生の親子を対象に、親子の触れ合いを深め、子どもの社会性や豊かな心を育むため、自然体験や社会体験、異年齢同士の交流等の活動を行いました。	12月16日（土） 「ミニ門松作り」	五頭連峰 少年自然の家	16 家族 47 人
		1月13日（土） 「まゆ玉飾り作りとおはなし会」	水原公民館	6 家族 11 人
		2月3日（土） 「かんじきハイク」	五頭連峰 少年自然の家	28 家族 80 人
家庭教育 ゆめ事業	市内における家庭教育関連の課題に向けて講演会や講座を実施しました。	7月9日（日） 「親子で楽しむボードゲーム」	ふれあい会館	18 人
		8月20日（日） 「サイエンスサーカス」	安田交流 センター	38 人
		10月1日（日） 「家族で楽しむ秋の音楽会 in 自然の家」	五頭連峰 少年自然の家	72 人

成果・課題等

（成果）家族体験教室および家庭教育ゆめ事業は、コロナ禍が終わり、多く事業で前年よりも多くの市民参加があり、充実した講座を実施できました。
 （課題）コロナ禍以降の多様な社会体験ができる講座の検討が必要と感じました。

2. 成人教育

市教育振興基本計画 II-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
公民館主催事業 まちづくり塾 公民館成人講座 ※塾のコンビニ事業	個人の生きがいづくりのため、知る楽しさ・学べる喜びを感じ、人との出会いやつながりを広げる機会を提供しました。	5月14日（日） 「朝ヨガ in 水原」	水原公民館	30 人
		6月18日（日） 「多肉植物寄せ植え体験教室」	安田交流 センター	16 人
		7月22日（土） 「苔テラリウム作り講座」	安田交流 センター	10 人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
		9 月 9 日（土） 「ふるさとの歴史を知る ～阿賀野の中世～」	水原公民館	23 人
		9 月 23 日（土） 「キャンプ講座」	五頭連峰 少年自然の家	7 人
		11 月 23 日（木・祝） 「大人のみそ作り講座①」	水原公民館	22 人
		12 月 2 日（土） 「そば打ち教室」	安田交流 センター	17 人
		2 月 17 日（土） 「大人のみそ作り講座②」	安田交流 センター	20 人
		2 月 25 日（日） 「はじめてのパン作り教 室」	水原公民館	14 人
キッズ教室	子どもの体験活動を通じ、食に興味を持つ機会を提供しました。	6 月 24 日（土） 「こども料理教室①」	京和荘	18 人
		7 月 1 日（土） 「こども料理教室②」	安田交流 センター	17 人
		10 月 7 日（土） 「はじめてのトレッキン グ」	五頭連峰 少年自然の家	12 人
成果・課題等				
(成果) 新型コロナウイルスによる影響がほとんどなく、一年を通して計画通りに講座が開催できました。 (課題) 市民のニーズを把握し、今後も継続して学習の場を提供する必要があります。				

3. 高齢者教育

市教育振興基本計画 II-1 人生を豊かにする生涯学習の推進…(1) 学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
山手学級（安田地区）	地区の高齢者を対象に、老後の生活を明るく楽しく暮らすため、健康管理・一般教養・社会見学などの学習を通して、仲間づくりを行いました。	年 9 回開催	安田地区 施設	95 人
寿学級（京ヶ瀬地区）		年 8 回開催	京ヶ瀬地区 施設	144 人
生きがい対策事業 （水原地区）		年 1 回開催	水原地区 施設	146 人
成果・課題等				
（成果）開講した学級には多くの参加者があり、充実した講座を実施できました。 （課題）高齢化による参加者数が減少しているため、事業周知が必要と感じました。				

4. 女性学級

市教育振興基本計画 II-1-人生を豊かにする生涯学習の推進…(1)学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
さわやか女性セミナー (安田地区)	実年女性を対象に、地域における役割や奉仕・趣味等の学習を通して、仲間づくりを行いました。	年 9 回開催	安田地区 施設	92 人
さわらび学級 (笹神地区)		年 7 回開催	笹神地区 施設	102 人

成果・課題等

(成果) 女性学級の事業は多くの参加があり、充実した講座を実施できました。

(課題) 高齢者教育と同様に、参加者が減少しているため、募集による対策が必要と感じました。

5. 利用促進事業

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加団体数
公民館利用 促進事業 マンスリー教室	利用団体・クラブ等を対象に、学習の場として公民館の積極的な活用を促進するため、学習相談を受け付けました。	随時 学習相談	各公民館	27 団体

成果・課題等

(成果) 27 団体から協力を得て、公民館の積極的な活用が促進できました。

6. 支援・育成事業

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
子ども会 連絡協議会支援	子ども会連絡協議会の主体活動を支援し、育成・発展を図りながら、青少年の健全育成を推進しました。	通年	子ども会 連絡協議会	
市内文化協会等 支援	文化協会の主体的活動を支援し、育成・発展を図るとともに、文化への関心を高め、文化活動の活性化を推進しました。文化協会の統合に向け、文化団体代表者会議を開催して調整を図りました。	通年	安田文化協会 京ヶ瀬文化協会 水原文化協会 笹神地区文化協会	—
社会教育 認定団体支援	市内の団体を対象に、社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体の認定を推進しました。	通年	市内	認定期間： R4. 4. 1～R6. 3. 31 83 団体

成果・課題等

(成果) 4 地区の文化協会を中心に文化祭が実施され、多くの市民が参観しました。

(課題) 人口減少や高齢化、そしてコロナ禍で活動自粛などの影響により、文化協会の所属団体や社会教育認定団体の会員数が減少し、文化活動自体に支障が生じています。

7. 学習情報提供

市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造・発展と担い手育成

…(2) 地域文化を継承する人材の育成

事業名	事業内容	期 日	冊子名	備考
講師紹介	各種団体や学校等の研修・講座への活用を図るため、市主催の講演や教室等の講師の情報をまとめて紹介しました。	通年	※「阿賀野市生涯学習ガイド（指導者編）」令和4.5年度版	—
サークル団体紹介	市民の生涯学習に対する支援のため、市内で活動しているサークル・団体の情報をまとめて紹介しました。	通年	※「阿賀野市生涯学習ガイド（サークル・団体編）」令和5・6年度版	—

成果・課題等
（成果）生涯学習ガイドを作成することで、広く市民にサークル活動の内容を周知できました。 （課題）今後も継続して情報提供をする必要があります。

8. 芸術・文化活動（文化祭）

市教育振興基本計画 II-3 健康でうるおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツ振興と

拡充…(1) 芸術・文化活動の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
安田芸能のつどい	一般市民の芸術文化活動への関心と水準を高めるため、「阿賀野市文化祭」と称して鑑賞・発表の機会を提供します。	10月8日（日）	安田交流センター	300人
安田文化祭		11月3日（金）～4日（土）	安田交流センター	437人
京ヶ瀬文化祭		11月2日（木）～3日（金）	市立図書館	158人
京ヶ瀬芸能祭		11月12日（日）	京和荘	200人
水原芸能発表会		10月15日（日）	水原公民館	233人
水原文化祭		11月3日（金）～5日（日）	水原総合体育館	648人
笹神文化まつり作品展		11月3日（金）～5日（日）	ふれあい会館	808人
笹神芸能発表会		11月3日（金）		
笹神ナツメロ大会		11月4日（土）		

成果・課題等
（成果）昨年度はコロナ禍での影響により人数制限を実施していましたが、今年度は4地区全てで実施することができ、前年比で800人以上も多くの市民が来場し、円滑な運営が実施できました。 （課題）コロナ禍での活動自粛や高齢化等の問題により、団体活動の休止または縮小が多く見受けられるため、対策が必要と感じました。

第2項 図書館事業に関すること

1. 全館共通

市教育振興基本計画 II 人生を豊かにする生涯学習の推進

…1-(1)学習機会や実践活動の充実、3-(1)芸術・文化活動の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
ブックスタート	乳児の保護者を対象に、図書館司書が親子の触れ合いや絵本の重要性を保護者に説明し、絵本リーフレットの配布や読み聞かせを実施しました。 共催：健康推進課	4 か月児健診時 (年 12 回)	水原保健センター	204 人
読み聞かせ事業～はじめての絵本プレゼント～ ※地域子育て創生事業	乳児の保護者を対象に、新生児訪問の際、絵本リストと返信用ハガキを配布。4 か月健診受診後に市立図書館で選択した絵本を配布し、館内の案内と読み聞かせを実施しました。	通年	市立図書館	配布数 195 人
読書推進活動	目標の読書冊数を設定し、達成した児童に認定証を年度末または随時交付しました。 目標読書冊数： 低学年：50 冊以上 中学年：30 冊以上 高学年：20 冊以上	4 月～2 月	小学校	交付数 1,528 枚
ボランティア講座	○読み聞かせ入門講座 講師：伊藤美智子氏を迎えて開催しました。	12 月 8 日、15 日、22 日、	市立図書館	8 人
パワーアップ事業	親と子が一緒に本を楽しみ、子供の成長を支える学習機会の充実をめざして、児童書を購入、学習コーナーに衝立・コンセントを設置しました。	通年	市内図書館	児童書 910 冊、学習コーナー衝立・コンセント設置

成果・課題等

(成果) 読書環境、学習環境が整備されました
(課題) 参加者数・交付数に減少がみられます。親子の読み聞かせを推進し読書層を掘り起こす必要があります。

2. 市立図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
おはなしのじかん	幼児・保護者を対象に、絵本の読み聞かせやおはなし会、手遊びを行いました。共催：読み聞かせボランティアもこ・もこもこ、ぐるんぱ	毎週土曜	市立図書館	51 回 442 人
サンデーシネマクラブ	幼児や小学生を対象に、子ども向けの DVD 鑑賞会を毎週日曜日開催しました。	毎週日曜	市立図書館 視聴覚室	53 回 227 人
※図書館 キッズウィーク 2023	図書館 キッズウィーク 2023	子どもの読書週間に合わせて「かがくはともだち〜みじかにはふしぎがいっぱい〜」をテーマに絵本・児童書を展示、館内を装飾しました。	4 月 21 日～ 5 月 7 日	市立図書館 期間中来館者数 1,726 人
	※図書館 キッズウィーク 2023 スペシャルデー 「空気で遊ぼう！」	いろいろな空気砲や紙飛行機、ミニ工作会などの体験会を実施しました。	4 月 29 日	市立図書館 ギャラリー 60 人
	※図書館 キッズウィーク 2023 プログラミング体験	LEGO ブロックの車にプログラミングを行う体験会を実施しました。	市立図書館	5 月 3 日、4 日 11 人
	※図書館 キッズウィーク 2023 おひざのうえで おはなし会	おはなしのへやで、未就園児とそのご家族を対象に「ちいさなおはなし会」を実施しました。	市立図書館	4 月 21 日～、 5 月 7 日 45 人
	※図書館 キッズウィーク 2023 おそとでおはなし会	絵本のテーマと同じ草花、虫などが目の前にある環境で、おはなし会を実施しました。	ふるさと公園 東屋	4 月 29 日、 5 月 6 日 38 人
※図書館 夏の子どもフェスタ 2023	※図書館 夏の子どもフェスタ 2023 大河シネマクラブ	大人向けの映画鑑賞会を行いました。	7 月 30 日	市立図書館 視聴覚室 3 人
	※図書館 夏の子どもフェスタ 2023 子ども 図書館員	小学校の中高学年を対象に、カウンター業務や返却・書架整理、本の装備、テーマ展示、ポップ作りを行います。新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し実施しました。	8 月 1 日	市立図書館 9 人
	※図書館 夏の子どもフェスタ 2023 こわい!? おはなし会	こわい!?おはなし会を行いました	8 月 1 日	市立図書館 ギャラリー 39 人

	事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
※図書館 夏の子ども フェスタ 2023	夏休み工作会	小学生を対象に、工作を行いました。	8月17日	市立図書館 ギャラリー	15人
	プログラミング体験	プログラミングアプリ「SPIKE」とLEGOブロックを使用したプログラミングを参加者と作成しました。	7月26日, 8月2日, 9日,16日	市立図書館	24人
	おみくじビンゴ ゲーム	本の貸出冊数とビンゴゲームを合わせ、ビンゴが揃ったらミニゲーム(さかなつり)ができるカードを配布しました。	7月15日～ 8月31日	市立図書館 市民図書室	カード配布 枚数 355枚
	雑誌・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入不可寄贈図書を配布しました。	10月8日	市立図書館 ギャラリー	コスモス祭 と同時開催
	コキアでミニほうき を作ろう	水原中学校中庭のコキアを活用しミニほうきを作成しました。	11月3日	市立図書館 ギャラリー	6人
	新春シネマクラブ	大人向けDVDを上映しました。	1月20日	市立図書館 視聴覚室	32人
	おはなしのじかん i n 安田小	全校生徒を対象に、ブラックシアター、絵本の読み聞かせやおはなし会を実施しました。	年6回 (昼休み)	安田小学校	274人
	おはなしのじかん i n 水原小		年10回 (昼休み)	水原小学校	334人
	おはなしのじかん i n 駒林特別 支援学校	小学部・中等部・高等部の児童生徒を対象に、絵本の読み聞かせを実施するとともに、わらべ唄を楽しみました。	年7回 (昼休み)	駒林特別支 援学校	97人
出張おはなし会		未就園児や保護者を対象に、出張おはなし会を実施しました。	4月～3月	京ヶ瀬子育て支援センター	5回 68人
			4月～2月	子育て支援センターのんのん	10回 57人
			4月～3月	子育て支援センターぽけっと	3回 19人
			4月～3月	子育て親子カフェ花どけい	10回 84人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
出張おはなし会	全学年の児童・生徒を対象に、出張おはなし会を実施しました。	11 月 21 日 ・ 22 日 (読書旬間)	水原小学校	544 人
		10 月 24 日 ・ 26 日 (読書旬間)	安野小学校	187 人
		12 月 5 日 ・ 6 日 (読書旬間)	笹岡小学校	179 人
		11 月 28 日、 29 日、30 日	京ヶ瀬小学 校	346 人
		11 月 27 日 ～12 月 1 日 (4 日間)	水原中学校	443 人
	園児を対象に、出張おはなし会を実施しました。	10 月 12 日	京ヶ瀬幼稚園	64 人
	駒林五郎巻作品展覧会でおはなし会を実施しました。	10 月 21 日	駒林・五郎巻 地区旧分館	5 人
	親子を対象に、出張おはなし会を実施しました。	1 月 8 日	まゆ玉作り (水原公民館)	7 人
館内おはなし会	図書館見学等の来館時に、おはなし会を実施しました。	随時	市立図書館	47 人

成果・課題等				
(成果) 令和 5 年度は、全ての事業を例年どおり開催し、新しい事業として大人向けのワークショップを開催しました。				
(課題) 児童の参加者数は減少が見られます。令和 6 年度は参加者数の維持と、利用者の拡大・定着が課題です。				

3. 水原中学校市民図書室

事業名		事業内容	期 日	会 場	参加者数等
おはなし こんにちは		幼児や保護者を対象に、おはなし会を実施しました。	毎月第 2 日曜	水原中学校 市民図書室	12 回 52 人
古雑誌市		保存期間が切れた雑誌の配布を行いました。	5 月 20 日		—
※図書館夏 スタ2023 子どもフェ	おはなし会& パパッと工作会	絵本の読み聞かせと簡単にできる工作を実施しました。	8 月 15 日	水原中学校 市民図書室	9 人
	一日図書館員 体験	水原中学校の生徒を対象に、カウンター業務や返却・書架整理、本の装備、テーマ展示、ポップ作りを行います。	8 月 15 日	水原中学校 市民図書室	2 名

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
コキアでミニぼうき を作ろう	水原中学校中庭のコキアを 活用しミニぼうきを作成しま した。	11 月 4 日	水原中学校 市民図書室	7 人
新春かるた大会&お はなし会	こどもかるたと伝統の百人 一首等の「かるた」あそび& おはなし会	1 月 7 日	水原中学校 市民図書室	9 人

成果・課題等
(成果) 令和 5 年度は、ほぼ通常通り開室でき、例年通りの事業が開催できました。 (課題) 利用者が安心して来館できる環境作りに水原中学校と連携して取り組んでいきます。

4. 安田図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
安田 de 夏のお はなし会	絵本の読み聞かせ	7 月 26 日	風とぴあ	0 人
安田 d e シネマクラブ	幼児や小学生、保護者等を対 象に、子ども向けの映画上映会 を行いました。	8 月 7 日		5 人
雑誌市・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入 不可寄贈図書を配布しました。	11 月 3 日、4 日		安田文化祭 と同日開催

成果・課題等
(成果) 事業への参加人数が減少しています。 (課題) 令和 6 年度は事業を見直し、参加しやすい内容を検討します。

5. 笹神図書館

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
朝のおはなし会 昼のおはなし会	全学年の児童を対象に、絵本 の読み聞かせや手あそび等を 行いました。	年 12 回	笹岡小学校	358 人
		年 9 回	神山小学校	228 人
笹神 de 夏のお はなし会	絵本の読み聞かせ	7 月 25 日	ふれあい会館	24 人
笹神 d e シネマクラブ	幼児や小学生、保護者等を対 象に、子ども向けの映画上映会 を行いました。	8 月 4 日		12 人
雑誌市・古本市	保存期間が切れた雑誌・受入 不可寄贈図書を配布しました。	11 月 3 日、4 日 5 日		笹神文化ま つりと同時 開催

成果・課題等
(成果) 事業への参加人数が減少しています。 (課題) 令和 6 年度は事業を見直し、参加しやすい内容を検討します。

6. 図書館だよりの発行等

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
図書館だよりの発行等	新着案内の発行や、広報あがのおしらせ版・図書館ホームページに各種事業案内を掲載し、さらにLINEやXで図書館の情報を発信しました。	随時	全市	—
成果・課題等				
(成果) 図書館の情報を適切に発信できました。				
(課題) 令和6年度はSNSをさらに活用していきます。				

第3項 スポーツに関すること

1. 各種大会

市教育振興基本計画 II-3 健康でうるおいのある市民生活に向けた芸術・文化・スポーツの振興と拡充…3-(2)スポーツに触れ合う機会の提供

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
第19回 ナイターソフト ボール大会	6月3日(土) ～18日(日)	水原野球場	中学生 以上	参加チーム数：14チーム
スポーツ& レクリエーション フェスティバル 2023	6月11日(日)	水原屋内運動場	一般	参加者：290人
夏のあそび虫 (スポーツキャ ンプ)	8月5日(土)～6 日(日)	五頭連峰 少年自然の家	一般	参加者：60人
かけっこチャレ ンジ2023	10月29日(日)	安田小学校 体育館	未就学児 から一般	参加者：112人
冬のあそび虫	1月21日(日)	安田体育館	一般	参加者：194人
第18回 ビーチボール バレー大会	2月4日(日)	笹神体育館	中学生 以上	参加チーム数：6チーム

成果・課題等				
(成果) スポーツ大会等への参加者数は11,554人となり、前年度より27.0ポイント増加しています。また、週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合は13.9%となり、対前年度と同率になっています。コロナ後、徐々にスポーツに親しむ市民が増えてきたことが要因と考えられます。				
(課題) 市民の運動行動意欲が低下しないよう、運動する機会の提供及び場所を確保していくことが必要です。				

2. スポーツ教室・講習会・研修等

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
トレーニング 機器利用説明会	①毎月第1水曜・第3 日曜（夜間） ②毎月第2火曜（夜間） ③平日（日中）	①水原総合体育館 ②笹神体育館 ③両体育館	16歳 以上	水原総合体育館 212人 笹神体育館 80人
フォービーチ 教室	6月2日（水）	安野小学校	小学生 親子	参加者：37人
	9月22日（金）	神山小学校	小学生 親子	参加者：21人
ボッチャ講習会	2月23日（金）	笹神体育館	一般	参加者：42チーム、115人 ※ロータリークラブ主催 ボッチャ交流会に参加
ゆめづくりスポ ーツ教室（バス ケットボール）	7月1日（土）	京ヶ瀬屋内運動 場	スポー ツ少年 団	参加者：38人
浮いて待て 講習会	7月11日（火） ～20日（木）	水原小学校他	小学1 年～6 年生	参加者：1,306人
B＆Gキッズ 水泳教室	7月～8月	安田B＆G 海洋センター	小学1 年～4 年生	参加者：延べ138人
B＆G初心者 カヌー教室	7月～8月	安田B＆G 海洋センター	小学生	参加者：延べ23人
	8月26日（土）	阿賀町三川B＆ G海洋センター艇庫	小学生	参加者：22人
水辺の安全教室	7月～8月	安田B＆G 海洋センター	こども 園等	参加者：延べ113人
体力・運動能力 調査（スポーツ庁 新体力テスト）	5月～7月 9月～12月	水原総合体育館	65歳 以上	5月25名 9月24名

成果・課題等

（成果）新型コロナ、昨年度に比べ実施事業が格段に増えました。

（課題）スポーツ指導及び教室に関する情報を周知し、参加を増やす取り組みが必要です。

3. 共催事業関係・その他

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
新潟県スポーツフェ スティバル下越・新 潟地区ソフトバレー ボール大会	5月21日（日）	笹神体育館	新潟・下越 市町民 全般	参加：15チーム

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
第 76 回新潟県駅伝 競走大会	10 月 15 日（日）	安野小学校前等	市民	
第 20 回市民 元旦マラソン	1 月 1 日（土）	水原総合体育館 (スタート・ゴール)	一般	参加者：216 人 (1.2 km：112 人) (3.0 km：104 人)

成果・課題等
（成果）スポーツフェスティバル下越・新潟地区ソフトバレーボール大会は、コロナ禍から 4 年ぶりの開催となりました。市民元旦マラソンは、前年度よりも 9.1 ポイント増加しています。 （課題）周知を行い、参加者数を増やす取り組みが必要です。

4. スポーツ推進委員関係 地区・ブロック事業等

○地区ブロック事業

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
下越地区スポーツ推進委員協議会総会・総合研修会	4 月 22 日（土） ～23 日（日）	胎内市	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員：3 人 市職員：1 人
下越地区スポーツ推進委員冬季研修会	1 月 27 日（土） ～28 日（日）	村上市	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員：4 人 市職員：1 人

成果・課題等
（成果・課題）下越地区のスポーツ推進に向けた活動を今後も行っていきます。

○その他

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
新潟県スポーツ推進委員大会	9 月 30 日（土） ～10 月 1 日（日）	佐渡市	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員：3 人 市職員：1 人

成果・課題等
（成果・課題）新潟県のスポーツ推進に向けた活動を今後も行っていきます。

5. 新潟アルビレックス女子バスケットボールクラブ連携事業

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
全国交通安全運動	5 月 11 日（水）	市内	一般	選手 3 人
	5 月 20 日（土）	市内	一般	選手 3 人
	9 月 29 日（金）	市内	一般	選手 3 人

事業名	期 日	会 場	対象者	参加者数等
スポーツ&レクリエーションフェスティバル	6月11日(日)	水原屋内運動場	一般	選手2人
水原まつり(民謡流し)	8月24日(木)	市内	一般	選手4名
阿賀野市20周年記念イベント	9月24日(日)	道の駅あがの	一般	選手3人
女子バスケットボールWリーグ公式戦	2月24日(土) ・25日(日)	水原総合体育館	一般	24日:655人 25日:642人

成果・課題等
(成果) バスケットボールの普及と競技力の向上、青少年育成や健康づくりなどの各分野において、相互に連携・協力することとしており、「バスケットボールを核としたスポーツによるまちづくり」のため、連携事業を実施しています。 (課題) 今後も目的達成に向けた連携事業を行うことが必要です。

第4項 文化財の保護に関すること

1. 文化財活用事業等

市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造発展と担い手育成…(1)文化財の保護・活用
III-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
夏休み 子ども博物館 ※博物館事業	①小中学生を対象に、夏休み期間中、博物館施設を無料開放し、学習を支援しました。 ②友の会天文部の協力により高性能天体望遠鏡による天体観測を行いました。	① 夏休み期間 ②9月16日(土)	①②吉田東伍記念博物館	① 4人 ② 延べ90人
収蔵資料の 保存・管理 ※博物館事業	収蔵・寄贈資料の整理・分類・管理・公開準備を行いました。	通年	吉田東伍記念博物館	—
博物館連続講座 ※博物館事業	市政施行20周年記念郷土の先史～古代の歴史を埋蔵文化財を通して読み解く入門講座「阿賀野のあけぼの一大地に埋もれた郷土の歴史」を3回シリーズで開催しました。	7月1日(土) 9月2日(土) 11月11日(土)	① 吉田東伍記念博物館 ② 歴史民俗資料館	延べ75人

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
他館、大学研究室等の研究機関との連携・相互支援と報道機関等への情報提供 ※博物館事業	関係館や大学、市町村を対象に、他館や大学研究室等への資料の貸し出しや研究成果の提供・協力を行いました。 報道機関対象に、情報提供を行いました。 連携先:新潟県立歴史博物館他	通年	新潟県立歴史博物館・吉田文庫・新潟大学・新潟県地名研究会・にいがた文化の記憶館ほか	—
研究・活動成果の報告・公開・刊行 ※博物館事業	刊行物やインターネット等により、研究・活動成果の公開・普及を行いました。	通年		—
博物館・ 付属生家の 維持美化活動 ※博物館事業	安田商工会女性部・友の会により、吉田東伍記念博物館の敷地や付属吉田東伍生家、日本庭園などの維持・美化奉仕活動を行いました。	6月4日(日) 10月1日(日)	吉田東伍 記念博物館 付属 吉田東伍生家	延べ17人
開館25周年記念 市民文化講演会 ※博物館事業	市民文化講演会「博覧会と博物館」を開催しました。	11月23日(木)	安田交流センター風とぴあ	36人
考古資料展示 歴史資料展示 民俗資料展示 ※文化財普及 公開事業	①阿賀野市の近世・近代を理解してもらうため、代官所の関係を中心に、江戸期の文書類や歴史・民俗資料を展示しました。 ②水原ふるさと農業資料館において「水原の山口人形展」の展示を行いました。	①②通年	①水原代官所 ②水原ふるさと農業資料館	①水原代官所 1,780人 ②水原ふるさと農業資料館 3,409人
	県内外の博物館等への資料貸し出しを行いました。 貸出資料: ①後陽成天皇口宣案(齋藤家文書) ②猫山遺跡 ヒスイ勾玉 ③ツベタ遺跡出土資料	①6月～9月 ②7月～8月 ③9月～11月	①新潟県立歴史博物館 ②十日町市博物館 ③長岡市馬高縄文館	—
	寄贈された池田孤邨筆「紅葉に流水・山景図屏風」高精細複製品の巡回展示を行いました。	1月～3月	水原公民館外 3会場	1,596人
遺跡発掘調査 ※埋蔵文化財 保護事業	令和5年度は、発掘調査はありませんでした。			
開発工事立会い ※埋蔵文化財 保護事業	公共工事・民間開発に伴い、遺跡等の工事立会を行いました。	通年	開発現地	—

事業名	内容・目的	期 日	会 場	参加者数等
遺跡発掘調査後の整理作業 ※埋蔵文化財公開事業	発掘調査等で出土した遺物などを整理し、成果をまとめました。 土橋遺跡発掘調査整理（資料整理及び印刷製本） 外輪橋遺跡発掘調査整理（資料整理）	通年	遺跡整理仮設事務所	—
指定文化財の状況確認・説明 看板の修復 ※文化財保護事業	適切な保護・管理を図るため、個人所有の指定文化財について状況確認や県指定文化財に付随する説明看板の作成を行いました。	状況確認 8月 看板作成 10月	看板作成	
学校の学習活動への支援等 ※文化財等を活用した学校教育支援事業	先人達が築いてきた市の歴史・文化・風土を次世代へ継承するため、博物館等文化施設を小中学校の総合学習の場として提供しました。	通年	歴史民俗資料館	6校
市民主催の学習会への講師派遣や情報提供 ※文化財を活用した生涯学習活動支援事業	一般や小中学生、歴史研鑽団体などを対象に、市民が文化財を身近に感じ、保護意識高揚を図るため、市の歴史・文化・風土に関する市民（団体）主催の学習会等に講師派遣や情報提供を行いました。	①6月 ②1月	①安野小学校 ②笹岡城址	①安野小学校4年生28人 ②笹岡小学校6年生5人

成果・課題等
（成果）出土品や文化財等を活用し、企画展等の展示を行ないました。 （課題）出土品や文化財を活用する上で市民等が見学等活用しやすくなるようPRや看板の設置が必要となっています。

2. 博物館・資料館運営事業

市教育振興基本計画 II-2 豊かな地域文化の創造発展と担い手育成…(1)文化財の保護・活用

事業名	内容	期 日	会 場	参加者数等
吉田東伍記念博物館運営事業	吉田東伍の著書や原稿、遺稿を中心に展示され、「郷土とは何か」を考える学習施設となっています。 特別企画展「100年前！『関東大震災』を伝えた新聞—吉田冬蔵（東伍三男）コレクションから」を開催しました。	9月26日 ～ 11月26日	吉田東伍記念博物館	926人
歴史民俗資料館運営事業	市内の各資料館の収蔵品を集約・整理し、わかりやすく親しみやすい展示をしました。 6月から県文化財指定記念企画展「石船戸遺跡展」を開催し、出土品等の展示をしました。	4月～11月	歴史民俗資料館	702人

成果・課題等

(成果) 吉田東伍記念博物館・歴史民俗資料館において企画展等を開催しました。
 (課題) 資料館への認知度が不足しているため、さらなる PR に努め、収蔵品等の整理及び展示を進め市民等に親しまれる博物館・資料館とする必要があります。



歴史民俗資料館内

<阿賀野市内 指定文化財件数>

国指定文化財 13 件、県指定文化財 13 件

市指定文化財 48 件

<阿賀野市内 資源化有効物件>

区 分	資源化有効物件
史 跡	越後府跡・水原代官所跡・城跡(水原・安田・山浦・堀越・笹岡)ほか
天 然 記 念 物	瓢湖・珠数掛ザクラ・天然木ほか
埋 蔵 文 化 財	上野林遺跡・ツベタ遺跡・石船戸遺跡・猫山遺跡・発久遺跡・境塚遺跡・華報寺墓跡出土品ほか
人 物	吉田東伍・市島春城・水原常陸介親憲ほか
彫刻・石仏・墓	阿弥陀如来像(座像)・代官所関係墓石群(長楽寺)・板碑(華報寺)ほか
伝統芸能・祭事	神楽・神社例祭ほか
工 芸 品	山口人形ほか
民 俗 資 料	現在の展示収蔵資料
建 造 物	清廣館・環翠楼・石井家・旧佐藤家米蔵・旧齋藤邸・吉田東伍生家ほか
神 社 仏 閣	華報寺・無為信寺・梅護寺・観音寺・孝順寺ほか
温 泉	五頭温泉郷

その他の事業（学校教育課・生涯学習課）

休日の部活動の地域移行の推進

少子化による部活動減少を受けて、生徒の運動や文化体験機会の確保と教員の働き方改革の推進

事業内容	成果等
少子化による部活動数の減少や教員の働き方改革のため、国のガイドラインに沿って、実施計画の策定、推進会議等を開催し地域移行を進め、令和5年度から3つの地域クラブが活動を開始しました。	○地域クラブ3団体設立（R5.4.1） ・阿賀野BBC（野球） ・阿賀野市剣道連盟（剣道） ・あがのランニングクラブ（陸上長距離） ○移行推進検討会議 1回開催 ○新規地域クラブ4団体設立決定
（課題）指導者の確保や今後の受益者（保護者）負担の在り方についての整理や、安全管理マニュアル作成、活動場所の確保が必要です。	

原爆絵画展・広島平和記念式典中学生派遣事業

阿賀野市非核平和都市宣言に基づく、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を考える機会の提供

事業内容	成果等
原爆絵画展（広島平和記念資料館所蔵資料） 令和5年7月27日～8月15日 市内4か所 広島平和記念式典中学生派遣事業 派遣生徒12人（平成29年度から実施） 令和5年8月5日～8月6日	○原爆絵画展入場者数 8,589人 （前年10,910人）公民館ほか ○広島平和記念式典中学生派遣事業 平和記念式典参列のほか資料館見学、千羽鶴奉納や献花等、平和学習を行いました。
（成果）広島平和記念式典中学生派遣事業は、令和4年度に引き続き生徒12人を派遣し、式典参列などを通じて平和の尊さを学びました。 （課題）原爆絵画展は、事業浸透してきましたが、今後も広報や市のHP、ポスター掲示やチラシ配布など効果的な情報発信等が必要です。	

第2章第2節 生涯教育施策の課題と対応（生涯学習課）

令和3年3月、阿賀野市総合計画（後期基本計画）のまちづくりの後期目標を踏まえ、「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」を新たな基本理念とする阿賀野市教育大綱並びに阿賀野市教育振興基本計画を策定しました。

教育委員会では、この計画に基づき、学校や地域の実情を踏まえ、学校教育課と生涯学習課の分担と連携を軸に、各種の施策・事業を推進してきました。

阿賀野市教育振興基本計画のなかで、阿賀野市教育の基本理念の具現化に向けて、生涯学習・社会教育の基本方針を「人生を豊かにする生涯学習の推進」とし、令和5年度も事業を推進してきました。

ここでは、令和5年度に実施した事業や今後の重点的な課題に絞って、今後に向けての問題点や課題と対応を総括しました。

第2節 人生を豊かにする生涯学習の推進（生涯学習課）

第5項 生涯学習振興行政の推進について

1. 現状と課題

阿賀野市では、平成25年度から政策実効性の向上を図り、関係部局が連携しながら戦略的な取り組みを推進するため、部制を導入した組織改革が行われました。

この改正により、生涯学習課は教育委員会から市長部局に移管され、補助執行という形で今までの教育事務を生涯学習課が行うことになりました。市長部局内の連携強化や効率的な予算執行等により、迅速かつ一体的な事業推進やまちづくりの推進体制の強化が図られています。

生涯学習を推進・振興する役割や意義をしっかりと認識し、行政内部や学校・地域との連携、事業の見直しを図りながら、課題解決に向けた効果的な事業展開と成果を発揮することが求められています。

2. 課題解決に向けて

生涯学習課に係る事務の連携・移管については、市民協働によるまちづくりの総合的な推進等の観点から、政治的中立性の確保等を勘案しつつ、市長部局と教育委員会との権限分担の弾力化が求められていることを理解し、具体的な内容について十分な検討・協議を行ってきました。

阿賀野市が掲げている重点方針「子ども育成支援の充実」の一環として、塾やスポーツ等の習い事がなく、家に帰っても勉強を教える家族が帰宅していない小学5・6年生への学習支援事業としての「放課後スクール」と、塾に通っていない中学生を対象に学習支援を行う「温故塾」を開催し、放課後の多様な過ごし方の提供を行うなど、政策への一体的な事業を展開しています。

今後も生涯学習振興行政の推進役として、行政内部と学校との連携を深めながら政策課題に取り組むとともに、地域づくりの主役である市民の主体的な学びを呼び起こしながら人づくりを推進します。

第6項 生涯学習課施設の整備・再編

1. 現状と課題

阿賀野市は、平成16年の町村合併以来、基本的に旧4か町村の公共施設をそのまま引き継いで維持管理を行っています。

生涯学習課においても、数多くの生涯学習施設・社会体育施設を所管・運営していますが、昭和40年代から50年代にかけて整備されたものが多く、老朽化の進展とともに維持管理費が増加する傾向にあります。

このため、施設の目的や利用実態・効果等を検討し、身の丈に合った施設の再編に取り組みながら、事業効果を上げていくことが緊急の課題であります。

2. 課題解決に向けて

施設再編については、生涯学習課の所管施設のみならず、大局的見地に立って市が保有する全施設の計画策定が必要であるとの考えから、平成24年度に市長部局において「公共施設再編整備検討委員会」が設置されて検討を行いました。平成25年度には施設を「コミュニティ施設」「教養施設」「スポーツ・レクリエーション施設」など10に区分し、利用頻度や利用エリア、老朽化の度合いなどを考慮して「現状維持」「移転」「改築」等の検討が行われました。平成27年度には、市公共施設再編整備計画を担当する部署として管財課が設置され、引き続き検討作業を行い、小学校の統廃合による施設利用についても協議が進展しました。平成29年2月には「阿賀野市公共施設等総合管理計画」が、また、令和4年11月には同計画の実施計画として「第1期アクションプラン」（令和4年度～令和8年度）が策定され、生涯学習課の所管施設では、6施設に運営改善や用途廃止検討等の方針が示されました。

なお、用途廃止検討と示されていた京ヶ瀬体育館（昭和49年建）については、京ヶ瀬中学校グラウンド敷地として改良整備をする計画となり、令和7年度の解体に向けて、令和5年度末に廃止を行いました。

第7項 歴史・文化の資源化

1. 現状と課題

平成16年の町村合併により誕生した阿賀野市には、豊富な恵みをもたらす五頭連峰や大河阿賀野川を有する自然環境などにより、山紫水明の地で太古から特徴のある時代背景を望むことができます。この地に人が住み始めた痕跡は約2万数千年前に遡り、県内でも最古級のものとされています。市内には400を超える遺跡があり、各時代の生活の様子を伺うことができます。後世に残すべき遺産として、市指定文化財などを「知り・守り・生かす」ことが重要となっています。

水原地区には、江戸幕府直轄の代官所や越後府・水原県が置かれるなど、新潟県における主要な地となったことを背景に、各分野で全国に名を馳せる人物を輩出しています。

阿賀野市の歴史・文化・人物史を学び、顕彰していくことは、愛郷心や誇りへとつながるものであり、豊富な歴史・文化を多様な資源とし、さらに付加価値を高めて情報発信するなど、積極的な有効活用が求められています。

2. 課題解決に向けて

吉田東伍記念博物館では、開館25周年事業として企画展や市民文化講演会を開催するほか、小中学生を対象とした博物館事業など各種主催・共催事業も展開し、市民の文化意識の高揚と愛郷心の醸成を図りました。

また、令和3年4月に開館した歴史民俗資料館においては、旧山手小学校1階の教室を利用して5室に分けた常設展示のほか、令和5年度には、阿賀野市の遺跡である「石船戸遺跡展」の企画展示も実施し、市内外から多数の来館者を迎え、好評を得た成果となっています。

遺跡関連では、開発に係る本発掘調査はありませんでしたが、資料整理や発掘調査の成果である報告書の作成・刊行を行いました。

これらの事業は、文化財の観光資源化や文化財保護、周辺環境を含めた総合的な普及活動に寄与できたと考えています。

第3節 III 地域協働による活動の推進（学校教育課・生涯学習課）

第1項 地域協働・連携に関すること

1. 地域と家庭教育

市教育振興基本計画 Ⅲ-1-地域の学びを通した阿賀野市を愛する心の育成…(1)協力体制づくり
Ⅲ-3 健全な青少年の育成

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
「子ども夢 フェスタ'23」 ふるさと 子ども絵画展 ふれあい ステージ ※地域人権啓発 活動活性化事業	園児・小中学生を対象に、 社会全体で子どもの人権を 育むため、子どもたちの積極 的な社会参加を図り、表現す る場を創出しました。 共催：夢創造実行委員会	・ふるさと 子ども絵画展 11月25日(土) /26日(日) ・ふれあいステージ 11月19日(日)	ふれあい会館 笹神支所	707 作品 展示 6 団体出演 入場者数 1,492 人

成果・課題等

(成果) 昨年度よりは参加作品数は微減したが、入場者数は大きく増加しました。
(課題) 少子化の影響もあり大幅な参加者の増加は困難ですが、事業継続には現状の規模を維持していくことが課題です。

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
地域ふれあい クリーン作戦 主管：青少年育 成センター	一般市民を対象に、地域の大人と子どもが面識を深めるとともに、安全で明るく健全な地域づくりを行うため、自治会ごとの清掃活動と併せ、危険箇所の点検を行います。	4月16日(日)	各自治会	148 自治会 5,085 人

成果・課題等

(成果) 昨年度よりも参加自治会及び参加者数は増加し、円滑に事業が実施できました。
(課題) 燃えるゴミの回収方法や不法投棄ゴミの対応についての苦情やトラブルがあり対策が必要です。

2. 学校教育支援

市教育振興基本計画

Ⅲ-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進

Ⅲ-2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進……………(1)社会に開かれた教育課程の推進

Ⅱ-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実…(1)学びの場充実と学習支援

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
総合学習等 における 講師紹介・ 資料提供	P T Aや一般市民を対象に、 小中学校の教科・特別活動を支 援するため、講師紹介や資料提 供を行いました。	随時	教育施設 小中学校	—
通学バス利用 学校応援事業	小中学校を対象に、図書館・ 博物館・資料館など生涯学習施 設の見学・学習等の利用を促進 するため、バスの借上費用を負 担しました。	5月～3月	市立図書館	延べ6回 234人 小学校4校 が利用
温故塾 (無償塾)	塾に通っていない中学生を 対象に、学力の向上を図るた め、教員O B・塾講師・大学生 が支援する学習の場を提供し ました。	毎週土曜 前期： 5～7月 後期： 10～3月	安田交流セ ンター 水原公民館	累計人数 安田会場 71人 京ヶ瀬会場 0人 水原会場 149人 笹神会場 0人 計 220人
放課後スクール	塾やスポーツ等の習い事が なく、家に帰っても勉強を教え てくれる家族が帰宅していな い小学校5・6年生を対象に、 宿題や予習・復習などの自主学 習を支援しました。	週1回 平日の放 課後 前期： 5～7月 後期： 10～3月	安田交流セ ンター 市立図書館 水原公民館 笹神保健 センター	累計人数 安田会場 89人 京ヶ瀬会場 79人 水原会場 92人 笹神会場 173人 計 433人

成果・課題等

(成果) 放課後スクールは全会場数で実施しましたが、温故塾は希望者が無い会場がありました。
また、参加者も前年度よりも減少しました。

(課題) 参加状況は交友関係が大きく影響しており、前年度から継続利用する児童生徒も多い傾
向はありますが、年度によって参加者の増減幅が非常に大きい現状です。

3. まちづくり支援

市教育振興基本計画 Ⅲ-1 阿賀野市を愛する心の育成…(2)地域学習の推進

Ⅱ-1 生涯にわたって学ぶ場と成果を社会に生かす機会の充実

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
はたちを祝う会	新成人を対象に、新たな 門出を祝い、大人としての 自覚を高めてもらうとと もに、実行委員会を編成し て企画や運営を担い、まち づくりを体験する機会を 提供しました。	5月4日(木)	水原総合 体育館	259人

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
公民館主催事業 まちづくり塾 公民館成人講座 ※塾のコンビニ 事業 ＜再掲＞	個人の生きがいがいくつ のため、知る楽しさ・学べ る喜びを感じ、人との出会 いやつなかりを広げる機 会を提供しました。	5月14日（日） 「朝ヨガ in 水原」	水原公民館	30 人
		6月18日（日） 「多肉植物寄せ植え体 験教室」	安田交流 センター	16 人
		7月22日（土） 「苔テラリウム作り講座」	安田交流 センター	10 人
		9月9日（土） 「ふるさとの歴史を知 る～阿賀野の中世～」	水原公民館	23 人
		9月23日（土） 「キャンプ講座」	五頭連峰 少年自然の家	7 人
		11月23日（木・祝） 「大人のみそ作り講座①」	水原公民館	22 人
		12月2日（土） 「そば打ち教室」	安田交流 センター	17 人
		2月17日（土） 「大人のみそ作り講座②」	安田交流 センター	20 人
		2月25日（日） 「はじめてのパン作り 教室」	水原公民館	14 人

成果・課題等
（成果）新型コロナウイルスによる影響がほとんどなく、一年を通して計画通りに講座が開催できました。 （課題）市民のニーズを把握し、今後も継続して学習の場を提供する必要があります。

第2項 学校の地域連携に関すること

市教育振興基本計画

Ⅲ-1 地域の産業・文化・伝統の学びを通じた阿賀野市を愛する心の育成……(2)地域学習の推進

Ⅲ-2 家庭・地域と連携した学校づくりの推進……(2)家庭・地域との連携によるキャリア教育の推進

事業内容	成果等
教育課程に明確に位置付けた地域連携プログラムの作成により、学校と地域の連携した特色ある教育活動が行われ、地域との連携を図ります。 地域連携プログラムの活用により、学校と地域の連携した教育活動を実践し、組織的・継続的に取り組みを進めていきます。	コロナ禍が明け、主に地域単位での登下校の見守り、あいさつ運動や総合学習において、地域と連携した活動ができました。 ○地域連携活動支援者数 小学校計 795 人 中学校計 408 人 計 1,203 人
（課題）活動支援者数を増やし、学校・地域等の連携で特色ある教育活動が支えられることで、地域連携の協働体制が構築されるとともに、さらに充実していく必要があります。	

第3項 青少年育成センターに関すること

市教育振興基本計画 Ⅲ-3-多様な体験活動や心豊かで思いやりのある健全な青少年の育成
 ……(2)地域の教育力向上、-(3)健全な環境の整備

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
愛の呼びかけ 巡回指導	児童生徒や青少年を対象に、 非行行為の早期発見と非行防 止に取り組みました。 ○巡回指導 指導員 3 人 1 組で昼間・夜 間に巡回し、呼びかけを行 いました。	通年 (定期・特別)	市内	指導員 36 人 巡視回数 94 回 呼びかけ数 2,315 人
環境浄化	有害環境の点検・解消に向 けた方策の検討や危険箇所・溜 まりの発見・解消を行いました。 ○青少年実態調査(アンケート)	11 月	市内商店等	48 施設に 調査実施
広報活動 「広報あがの」掲載	市民の青少年健全育成の関 心や意識を高めました。	年 3 回 (8・11・3 月に掲載)	全市	—
標語コンクール	家庭や地域で、このコンク ールを話題に家庭について話し 合い、考える機会を持つことを 目的とし標語を募集します。 ○令和 5 年度標語募集テーマ 「家族について～わたしが思 うこと～」	7 月	小学校 4～6 年生 中学校 1～3 年生	小学生 282 点 中学生 123 点

成果・課題等

(成果) 愛の巡回指導は、積極的に児童や生徒に声がけを行いました。屋外で遊ぶ子どもが少ない現状でした。
 (課題) 巡回指導を行う指導員の確保が難しく、事業自体の継続に関わる課題です。

事業名	事業内容	期 日	会 場	参加者数等
地域ふれあい クリーン作戦 ＜再掲＞ 主管: 青少年育 成センター	一般市民を対象に、地域の 大人と子どもが面識を深めると ともに、安全で明るく健全な地 域づくりを行うため、自治会ご との清掃活動と併せ、危険箇所 の点検を行います。	4 月 16 日 (日)	各自治会	148 自治会 5,085 人

成果・課題等

(成果) 昨年度よりも参加自治会及び参加者数は増加し、円滑に事業が実施できました。
 (課題) 燃えるゴミの回収方法や不法投棄ゴミの対応についての苦情やトラブルがあり対策が必要です。

第4節 IV 安全・安心な教育環境づくりの推進（学校教育課）

第1項 安心して学べる学校づくりに関すること

1. 教育相談員配置事業

市教育振興基本計画 IV-1 児童生徒が安心して学べる学校づくり……(2)相談支援体制の充実

事業内容	成果等
教育相談体制の充実・強化を図るため、教育センターに教育相談員 1 人を配置しました。 保護者や児童生徒、教職員等からの教育に関する問題・悩みの相談に対してアドバイス等を行いました。	保護者や児童生徒等からの相談に対してアドバイス等を行い、解消が図られました。 ○相談日数： 49 日（毎週水曜） ○相談件数： 114 件（R4:160 件） （内 訳）面接相談：51 件、電話相談：6 件 その他：57 件 （対象者別） 児童生徒に関するもの：15 件（13.2%） （内容別）不登校に関するもの：52 件 他、学業・進路、家庭に関するもの等
（課題）児童生徒の抱える問題が多様化・複雑化しています。専門的な相談に対応するため今後も継続した教育相談員配置が必要です。	

2. 防災教育・安全教育に関すること

市教育振興基本計画 IV-2 自分の命を守る防災教育等の充実

IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実-(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
防災教育プログラムを活用した防災教育並びに学校安全計画に基づく安全教育として、学校での避難訓練や引き取り訓練・防災の日の設定、非常食の試食、交通安全教室・通学指導などにより、防災・安全教育の定着と推進が図られました。	児童生徒の一人ひとり及び保護者の防災や安全に対する意識向上が図られ、命を守る教育の推進が図られました。
（課題）今後も継続して訓練等を行い、災害等に備える必要があります。	

第2項 快適な教育環境・施設設備等の整備に関すること

1. 小中学校長寿命化等改修事業

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上

事業内容	成果等
小中学校長寿命化等改修事業	実施なし
小中学校長寿命化等改修設計業務委託	令和 6 年度に行う京ヶ瀬小学校長寿命化改良等工事の発注準備を進めました。
(課題) 施設の老朽化が進んでいます。 補助金等を活用し、計画的に施設整備や改修をすすめていく必要があります。	

第3項 学校等の環境衛生に関すること

1. 学校環境衛生定期検査の実施

市教育振興基本計画 IV-3-(1)安全・安心で快適な教育環境の整備・充実・施設整備と機能向上

検査名	検査時期
薬品等管理状況定期検査	5 月～7 月
学校給食衛生管理定期検査	5 月～7 月、9 月～11 月、1 月～2 月
水泳プール管理定期検査	6 月～10 月
飲料水及び排水管理定期検査	5 月～6 月、9 月～11 月
照度及び照明環境定期検査	6 月～9 月、10 月～2 月
教室等の空気定期検査	6 月～9 月、12 月～2 月
ダニまたはダニアレルゲン検査	6 月～9 月

※他に、感染症対策として、手指消毒液を各校へ配布しました。

第4項 児童生徒の安全確保及び就学支援等に関すること

1. 学校の安全管理の取り組み

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
阿賀野警察署と連携し、不審者情報を迅速に市内学校・幼稚園・関係各機関に伝達するとともに、共有体制を確立しています。 市内企業や商工会、官公庁等から協力を得て、「ながらパトロール」「子どもSOS」を展開するほか、水原小学校の通学路について、阿賀野警察署及び道路管理者（市建設課及び新潟県）、学校等による点検を実施し、通学路の危険箇所について対策案を検討し、各部署から国へ対策箇所の要望を行い、安全対策の実施につなげました。 小学新1年生に対して、防犯ブザーを配布するとともに、熊等の遭遇を抑止するため、熊の出没が見込まれる地区の児童に対し、クマよけ鈴を配布しました。 自転車通学の中学生保護者に対してヘルメット購入経費の一部補助を行っています。	登下校時の交通事故や不審者による犯罪行為の未然防止を図りました。 不審者や熊出没情報は、連絡経路が整い、速やかに情報共有が図られました。 ○不審者情報提供2件 (R4 12件) (R3 8件) ○防犯ブザーの配布 小学校7校：261個 ○クマよけ鈴の配布 小学校3校：31個 ○ヘルメット補助金交付人数 安田中学校：32人 京ヶ瀬中学校：26人 水原中学校：46人 笹神中学校：37人 ※自転車通学者ヘルメット装着義務付け
(課題) 不審者情報は令和5年度に2件寄せられました。防犯意識の高まりから件数が減少したと推察されます。今後もより防犯意識を高めていく必要があります。	

2. 通学バス運行事業

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(2)通学環境の安全確保

事業内容	成果等
通年通学バスや冬季通学バスを運行しました。	通学距離が3km以上（冬季は1.8km以上）の児童生徒に対し、通学バスを運行することで、児童生徒の利便性と登下校の安全が確保されました。
(課題) 今後も継続して安全対策・感染対策を行い運行する必要があります。	
遠距離児童及び生徒通学費補助金を交付しました。	通学距離が1.8km以上3km未満の児童生徒を対象に、通学に係る経費の補助を行なうことで、保護者の負担軽減と登下校の安全が確保されました。 また、冬季通学バス有償運行地区の就学援助受給者に対し、負担金を免除しました。
(課題) 今後も継続して経費補助をする必要があります。	

<参 考> 通年通学バス利用者数

学校名	方 面	人 数	備 考
安田小学校	大和	51 人	
	寺社	38 人	
	新保	8 人	登下校市営バス
	小松	19 人	
	久保	25 人	
	丸山	10 人	
	庵地	40 人	
京ヶ瀬小学校	駒林	35 人	
	下里	30 人	
	嘉瀬島	46 人	
	法柳	10 人	
堀越小学校	中潟	16 人	
	分田	15 人	
	江端	17 人	
水原小学校	天神堂	12 人	
笹岡小学校	大室	35 人	
	出湯	41 人	
	明倫	22 人	
神山小学校	村岡	14 人	登下校市営バス
水原中学校	分田	45 人	
合 計		529 人	

<参 考> 冬季通学バス利用者数

学校名	方 面	人 数	備 考
安田小学校	南郷砂山	21 人	登下校市営バス（有償）
京ヶ瀬小学校	金沢・下黒瀬	13 人	全部有償運行
堀越小学校	大野地	1 人	登校市営バス（有償）
笹岡小学校	須走	10 人	登下校市営バス（有償）
神山小学校	中ノ通	12 人	全部有償運行
	本明	21 人	全部有償運行
安田中学校	大和・新保	33 人	登校市営バス等（一部有償）
	寺社	15 人	登校市営バス（有償）
	山手	24 人	登校市営バス等（一部有償）
	小松	4 人	路線バス定期券支給
京ヶ瀬中学校	嘉瀬島・下里	28 人	一部有償運行
	駒林	20 人	
	下黒瀬・法柳・金沢	20 人	一部有償運行
水原中学校	天神堂・原・横山	20 人	登校市営バス等（一部有償）
	里・境新等	7 人	一部有償運行

水原中学校	山口	17 人	登下校市営バス等（有償）
	中潟	0 人	登下校市営バス（有償）
	堀越	9 人	※臨時バス費（路線バス有償定期券補助）
	越御堂	0 人	
笹神中学校	大室	30 人	一部有償運行
	出湯・明倫	14 人	登校市営バス（一部有償）
	中ノ通	24 人	
	村岡	17 人	一部有償運行
	上飯塚	15 人	
合 計		372 人	

＜参 考＞ 遠距離児童及び生徒通学費補助金（冬季通学バス利用者数と重複）

補助申請自治会名	学校名	対象者数	補助額
堀越	水原中学校	6 人	64,430 円
下黒瀬	京ヶ瀬中学校	-	-

市冬季バス運行計画の路線バスを利用した際の補助

3. 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業

市教育振興基本計画 IV-3 安心・安全で快適な教育環境の整備充実…(3)経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
生活困窮世帯における児童生徒の保護者に就学援助費を支給しました〔学用品費・給食費・医療費・校外活動費・修学旅行費・新入学学用品費（入学前支給）部活動費（初期費用）等〕。 令和2年度から市独自の援助として、学用教材費（基本学用品相当分）を項目に追加しました。	生活困窮している保護者の経済的負担の軽減が図られました。 ○支給額 小学校：19,513,893 円 中学校：18,827,067 円 合 計：38,340,960 円 ○対象者数 小学校：227 人 中学校：141 人 ・令和5年度は、学用教材費を小学校1,2,4年生(105人)に、中学校1年生(44人)に支給
（課題）今後も継続した周知と必要な保護者への給付（支援）が必要です。	

4. 特別支援教育就学奨励事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実…経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
特別支援教育を受けている障がいがある児童生徒の保護者等に就学奨励費を支給しました。	特別支援教育を受けている児童生徒の保護者等の経済的負担軽減が図られました。 ○支給額 小学校：2,561,893 円 中学校 1,352,685 円 合 計：3,914,578 円 ○対象者数 小学校：77 人 中学校：24 人
（課題）今後も継続した周知と必要な保護者への給付（支援）が必要です。	

5. 奨学金貸付事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
経済的に修学が困難な学生に貸付けを行いました。	経済的に修学が困難な学生に対して、教育の機会均等などが図られました。令和4年度貸付分より貸付金額を拡充し、毎年基金に3000万円を積立て、多くの学生に貸付けています。 ○新規貸付者 : 48人・44,760,000円 ○継続貸付者 : 85人・42,480,000円 ○先行貸付者(R6分) : 20人・18,600,000円 ○奨学貸付基金残高 : 542,738,067円
(課題) 生活環境の変化等で返済が困難となり、連絡等もなく滞納する事例が見受けられます。円滑な基金運営のため、これら滞納の早期完済に向けた取り組みの強化が必要です。 (令和5年度末現在の滞納額) 6,596,100円 (滞納者21人) ※令和4年度末比 : 1,459,000円減	

6. 地域子ども・子育て支援事業費

市教育振興基本計画 I-1-(3)確かな学力の育成・豊かな学びの基礎を培う幼児教育の充実
IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果等
公立園の一時預かりを利用した保護者(新2号)へ、申請により施設等利用給付(無償対象の利用料)を給付しました。	保護者の経済的負担軽減が図られました。 (施設等利用給付費給付額) 京ヶ瀬幼稚園 29,850円
(課題) 今後も制度による継続した給付が必要です。	

7. 「新潟県立駒林特別支援学校」通学費補助事業

市教育振興基本計画 IV-3-(3)安心・安全で快適な教育環境の整備充実・経済的負担の軽減

事業内容	成果・課題等
県立駒林特別支援学校に在学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、保護者団体が送迎バスを自主運行した場合の経費の一部を補助しました。	利用児童生徒の利便性や登下校の安全確保、保護者の経済的な負担軽減が図られました。 ○補助金額 : 2,180,158円
(課題) 今後も継続した支援が必要です。	

第3章 総 括（まとめ）

教育委員会では、令和5年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検並びに評価を行うため、事務局と共に議論を重ねてきました。評価報告書の充実を図るとともに、教育委員の生の声を伝えたいと考え、8月29日（木）に懇談会を開催しました。前水原小学校長の佐藤元彦様には、学識経験者としてご出席を賜り、貴重な助言をいただきました。これらを通じて提起された課題や今後の方向性について、要旨として掲載し、更に4人の教育委員と教育長の所感を追記し、令和5年度の報告書の総括（まとめ）とします。

学識経験者
佐藤元彦 様



懇 談 要 旨

と き 令和6年8月29日
ところ 笹神支所「委員会室1」

- 出席者：教育長、教育委員3人、学識経験者（佐藤元彦様：前水原小学校長）、羽田学校教育課長、塚野生涯学習課長、阿部管理指導主事、清水教育センター長
- テーマ：「学校教育上の諸課題への対応とふるさとを愛し未来を切り拓いていく人を育てる教育の具現について」

○懇談要旨

- ・昨年度、『評価の全体が見えない。指標等を全体にまとめること』、『計画の4つの基本方針に基づく評価、構成内容にすること』と指摘した内容が改善された。12・13ページを見るだけで、教育委員会の昨年の動きがよく分かるようになっている。グラフの見せ方や達成度の説明等をさらに工夫してほしい。
- ・令和7年度から阿賀野市総合計画と阿賀野市教育振興基本計画が改正になる。通常の年度の評価は効率性（達成度）の評価だけでよいが、変わり目の年度の評価においては、継続性や効率性の評価、そして総合評価（拡充、継続、見直し、廃止）を実施したほうがよい（他自治体の評価方法を参考にしながら）。
- ・いじめが万が一起きた場合の対応に関して、第三者委員会「いじめ防止サポート委員会」の存在について明記したほうがよい。

教育委員による所感

教育長職務代理者 渡 邊 栄 二



令和5年、ようやく感染症－新型コロナウイルス－が5類に分類され、少しずつ学校、社会、家庭生活が元にもどりつつある。油断はできないが！

さて今年度、私の所感「心に感じた事」。

私事ですが、今年60歳をむかえ安田中学校卒の同級生と還暦を祝う会を開催いたしました。久しぶりにみなさんと会って語る事ができて大変良かったと思います。その中で私の隣の席にいた、子どものころから体と言語に障がいのある同級生〇〇ちゃんと話をしました。ただ、〇〇ちゃんは言語が苦手です。そこで、〇〇ちゃんは割りばしの封を開き、文字で色々、今の事、昔の事、今後のことを教えてくれました。その時ふと思いついたのですが、〇〇ちゃんとは小学校は違いましたが中学校で一緒になり同じクラスで学んでいました。当時、支援教室もあったのですが、クラス担任、教科担任も一生懸命に教えて、クラスも全員普通に会話をしていた気がします。そんな事を思い、今を考えてみました。

昔はすべて「障がい」という言葉で表していた発達障害は今、LD（学習障害）やADHD（注意欠如・多動性障害）、PDD（広汎性発達障害）、高機能自閉症、アスペルガー症候群など、私には意味が理解できない言葉もあります。そんな中でも教育委員の学校訪問で感心することがあります。それは、各学校にはそれぞれの児童、生徒に合わせた支援教室があり、その教室にも行けない子どもたちのために令和6年度からは支援する場所が設置されることです。今であれ、昔であれ、その時代にあった教育を推進しているのは良くわかります。

一つの言葉で「インクルーシブ教育」、障がいがある者となない者が共に学ぶ、そんな事を考えるとずっと教育、「生きる力」を大切にして教育委員として考え行動していきたいと感じています。そして、今後も顔の見える活動を重視していきます。

教育委員 酒 井 里佳子



令和5年の学校訪問では、子どもたちのマスク姿が減り、元気のいい挨拶と笑顔、真剣に授業を受ける姿が見られました。運動会や体育祭では大きな声で応援したり、歌声が校内に響き渡ったりと、コロナ禍以前の学校生活に戻りつつあったと感じます。

しかし、全国的にも増加している不登校は阿賀野市でも増加傾向にあることが心配されます。近年では不登校の要因、背景が複合化しており、直接的な要因も特定できないこともあるため、より丁寧な関わりが重要となってきます。

そのような中で、学校に行きたくても行けない、心の居場所を必要としている子どもたちのため、学びたいと思った時に学べる場所、話をしたいときに聞いてくれる人がいる、そのような安心できる居場所が必要となります。教職員の多忙化といわれている今、子ども達の話にゆっくり耳を傾けることができる人員と場所が必要です。

今後は、校内教育支援センターが稼働されることに期待し、子ども達が少しでも安心して学べる場所に、そして、保護者にとっても気軽に相談できる窓口になってもらいたいと思います。

また、阿賀野市は自然豊かな中で、それぞれの学校が特色ある特別活動をしています。米作りや野菜作り、登山や沢登りなど地域のプロから学ぶ五感を使った本物の体験は子ども達の記憶に残り、好きなこと、興味のあることを見つけるきっかけとなる特別な体験です。田植えの時の泥の感触、自分達で育てた野菜のおいしさ、皆で協力して達成した嬉しさなど、今しかできない貴重な体験を通して、たくさんの子どもたちに笑顔になってもらいたい。

阿賀野市の教育の基本理念は『ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育』です。社会状況が目まぐるしく変化している今、皆が笑顔で居られるよう、学校・家庭・地域・行政の連携が今後、更に重要となってくると考えます。

教育委員 小 川 寛 子



令和5年5月に教育委員を拝命し、一年が経ちました。阿賀野市教育委員会においては、阿賀野市教育の基本理念の下、教育大綱や教育振興基本計画が策定され、基本理念の具現化に向けて様々な取り組みや活動が実施されていること、さらに、教育委員会は学校教育だけでなく、成人教育や家庭教育、高齢者教育などの社会教育の分野でも、より充実した教育施策の実施に取り組んでいることを知りました。

学校訪問では、園児児童生徒さんや教職員の皆さんの様子を直接拝見し、現状を少しでも把握する機会を与えていただき、入学式や卒業式、各種学校・生涯学習行事などを通して阿賀野市内のいたるところで多くの活動や取り組みが実施されていることを知りました。そこには、子ども達を愛する気持ち、地域を愛する気持ちがあり、素晴らしいことだと体感することができました。そして、学校教育も社会教育も「あって当たり前、やって当たり前、提供される環境があって当たり前」のようですが、沢山の努力や協力によって「教育」が成り立っていることを改めて感じるものでもありました。令和5年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」により、阿賀野市の教育の現状から、その課題と対応を見ることができます。阿賀野市が提供する教育活動の全てが、阿賀野市教育の基本理念【ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育】を実現させるための手段となり得ているのかを点検・評価するものです。

阿賀野市教育大綱、振興基本計画が令和6年度末に次期改定となり、令和7年度からは第4期がスタートします。国や県、阿賀野市総合計画に基づいて改定されるものですが、重要なのは、過去を振り返り、課題を整理し、現状をどこまで基本理念に近づけることができるのかだと思います。子ども達、地域を愛する気持ちが一つになり、魅力溢れる阿賀野市になることを願います。

教育委員 佐久間 正 浩



「子供は思いどおりに成らないけど、心配どおりに成らない。」なにかの手帖に書かれていた “言葉” です。

令和6年5月教育委員を拝命されました佐久間正浩と申します。唐突でしたが、今まで幾度か助けられた “言葉” を先に紹介してもらいました。

私は約25年前、中学校評議委員を最期に阿賀野市の、いわゆる教育“現場”から遠ざかっており、恥ずかしい話ではありますが “鎮火” 状態でした。今回ご縁あって委員を拝命する事となり「どうしょば・・・」の毎日となっていました。そんな中、地域連携教育活動のKCAにお呼びいただき僅か1時間では在りましたが “多種・多様” と申しては失礼ですが “熱” を感じた集会で、地域子供教育を学校にとどめず、その本質を地域全体でとらえ、検討・対策・実行・検証の組織の体制が整い、活動報告をお聴きしているうちに “着火” していくそんな集会でした。それと、こんなに大勢の方々が想い同じに活動されていることに、とても心強い思いがしました。

委員活動として、定例会・学校訪問・総合教育会議など出席させていただき “現場” が少しずつみえてきます。盤石の体制の委員会を感じるのと、その中の委員会の責務の大きさに 又「どうしょば・・・」 “言葉” を持て。 “熱” を持て。自らを鼓舞しながらも、時代とともに凹凸を繰り返す “現場事”。 自律・協働・創造 を旗頭に、先にある“教育”の一助となりうるよう、私ができる事は、学びながら皆様と繋がり自ら発信していく阿賀野市の教育委員となる事。

“熱” にうかされながら、勝手に盛り上がっている私ですが、現場の方々の周到さは、むしろ私にまで教書を示してくれていることに、改めて気付かされます。反省と皆様の重ねた努力に酬いられるよう学んで行きたいと思っております。

先輩委員では在りませんが “所感” 改め “初心表明” となりましたこと、お詫びいたします。今後とも皆様よろしくお願い致します。

教育長 小 泉 明 美



令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザ等と同様の通常医療体制での対応となりました。数年来の困難を乗り越えて、通常のエデュケーショナル活動を展開できることが増えました。全校朝会をはじめとする全校児童・生徒が一堂に会する学校行事、児童会・生徒会活動でのかかわり、授業におけるグループ活動や話し合い等がのびのびと実施できるようになり、明るく元気のよい学校風土も復活してきています。また、地域の人・もの・ことと直に触れ合うことが増え、地域とともに歩む学校づくりも活性化してきました。誠に喜ばしいことです。

しかし、コロナ禍の長期間に於いて、不要の外出を避け自宅で過ごす時間が多かったことの影響からか、学校に登校せず自宅で過ごす不登校児童・生徒数が年々増加し、令和5年度では、阿賀野市全体で120名を超える状況となってしまいました。全国的な傾向とはいえ、危機的な状況ととらえており、子供たち誰もが学びを継続できるよう、多様な学びの場を準備するとともに、自立した生活ができるよう支援を強化しているところです。

学力面では、生きて働く知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力を高める授業改善に力を入れてきました。市内では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指した授業が展開されています。また、学習内容の定着を図るため、繰り返し学習や個に応じた指導も実施しています。しかし、各種学力状況調査では、自己の力を存分に発揮し、確かな学力が定着している児童生徒数は、まだ十分とは言えません。家庭学習時間が少ない児童生徒が多いのも課題となっています。授業と家庭学習の両側面から、引き続き学力向上を図っていく必要があります。

学校が学習指導のみならず生徒指導等の面でも主要な役割を担い、様々な場面を通じて子供たちの状況を総合的に把握して指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、一定水準の教育を保障する平等性の面、全人教育が提供されている面などについて、諸外国から高く評価されています。今後も、教師が学び続け、子供一人一人の学びを最大限引き出す教師の役割を果たすとともに、もう一方では、教師の長時間勤務解消等の働き方改革も推進していかなくてはなりません。保護者やご家族の皆さま、地域の皆さまからのご支援・ご協力をいただいて、一歩前へと進みます。

令和５年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価報告書

令和６年１０月

編集・発行：阿賀野市教育委員会

本報告書についての問い合わせ先

〒959-1919 新潟県阿賀野市山崎 7 7 番地

学校教育課 ☎：0250-62-2790 Fax：0250-63-2115

E-mail：gakkokyoiku@city.agano.niigata.jp

生涯学習課 ☎：0250-62-5322 Fax：0250-63-2115

E-mail：syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp